

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5000040B5	アクティブ・ゼミナ ール	水垣 源太郎	人文科学系	後期 その他 その 他	演習	1年次以上	2時間	1単位	修士論文作成に向けて進めている研究内容を他分野の受講生の前で発表することで、自身の研究を社会的に位置づける視座を獲得する。同時に、他分野の研究方法を体験することで、自身の研究方法を相対化する視座を養う。
5200030A5	生活環境学におけ る研究倫理	西牧 未央,高村 仁知,林田 敏子, 室崎 千重,高田 雅美	生活環境科学系	集中 その他 その 他	講義	1年次以上	15時間	1単位	生活環境学系の学術研究を進めていく上で留意すべき研究倫理について解説する。 担当者 5 名による 1. 5 コマずつのオムニバス開講方式である。
5210010A5	調理機能論	高村 仁知	生活環境科学系	集中 その他 その 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	食素材の調理過程における品質変化について、組織的、化学的、酵素学的、嗜好学的な立場から講述する。さらに、食品成分が持つ機能、特に、健康増進に寄与する生理機能成分の調理過程における変化と健康増進に有効な食事献立の設計について、最新の研究成果を中心に講述する。
5210020A5	栄養生化学特論	中田 理恵子	生活環境科学系	集中 その他 その 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	食物として摂取した成分が細胞内でどのような代謝調節をうけ、生体内の恒常性維持に機能しているのかについて解説する。
5210030B5	栄養生化学特論 演習	中田 理恵子	生活環境科学系	集中 その他 その 他	演習	1年次以上	30時間	2単位	食物として摂取した成分が、細胞内でどのような代謝調節によって、生体の恒常性維持に機能しているのかについて、最近の研究論文を読み、討論する。
5210040A5	食品情報解析論		生活環境科学系		講義	1年次以上	30時間	2単位	食品には物性、成分、機能などに関する多くの情報が含まれている。これらの情報を解析する手法について、化学的な解析法および機器分析を中心に講述する。
5210050A5	環境応答機構論	前田 純夫	生活環境科学系	集中 その他 その 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	細胞が環境に応答する分子機構に関して、大腸菌の環境応答遺伝子発現制御機構をモデル系とし、英語論文文献を主な題材として紹介する。また、その基本機構の普遍性について考察する。
5210060B5	環境応答機構論 演習	前田 純夫	生活環境科学系	集中 その他 その 他	演習	1年次以上	30時間	2単位	本演習では、論文講読を通して、受講者が生命システムの環境応答分子機構の諸実例を理解するための契機を与える。
5210070A5	代謝調節機構論		生活環境科学系		講義	1年次以上	30時間	2単位	生体内では、数々の代謝と各来官の機能がたくみに調節され、複雑な生命活動が営まれている。この調節がどのようなメカニズムで行われているのかについて、生化学的に解説する。
5210080B5	代謝調節機構論 演習		生活環境科学系		演習	1年次以上	30時間	2単位	生体の代謝調節機構についての最近の研究論文を精読し、討論・検討を加える。
5210090A5	栄養科学特論	未定	非常勤講師	集中 その他 その 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	栄養科学に関する幅広いトピックスについて、現在の最先端の研究を紹介する。
5210100A5	分子食品学特論	未定	非常勤講師	集中 その他 その 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	分子食品学に関する幅広いトピックスについて、最先端の研究内容を紹介する。
5210130A5	学校栄養教育特 論A	稲井 玲子	生活環境科学系	集中 その他 その 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	個人（カウンセリング）と集団を対象にした栄養教育や、食環境づくりの事例を紹介し、対象別栄養教育の実際について討論し考察する。また、学校や地域における食の課題を取り上げ、問題解決のための教育プログラム事例について検討、協議する。
5210140A5	学校栄養教育特 論B		生活環境科学系	集中 その他 その 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	栄養教諭の業務は、学校や地域における食に関する課題を取り上げ、問題解決のための教育プログラムを作成し、実施することである。これらについての事例を示し学校栄養指導・教育について検討、議論する。
5210150A5	学校栄養指導カウ ンセリング特論Ⅰ	森下 文	非常勤講師	集中 その他 その 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	栄養教諭として食行動に関する健康指導を行っていくうえで、カウンセリングの理論と方法を学習しておくことは、その指導内容を児童・生徒に伝えていく上で大きな支えとなる。本講義では、児童・生徒への健康・栄養指導を十全に遂行するために必須となるカウンセリングの理論と技法を、栄養教諭の役目に即し、基礎から実践に至るまで学んでいく。
5210160A5	学校栄養指導カウ ンセリング特論Ⅱ	森下 文	非常勤講師	集中 その他 その 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	栄養教諭として栄養教育に携わっていくとき、食に関する児童生徒のつまづきや不適応、もしくは逸脱行為に必ず遭遇する。本講義では、昨今、栄養教諭として対応を迫られる食にまつわる様々な問題行動を取り上げ、その背景にある心理的問題や背景事情について理解を深める。さらには、当該の児童・生徒や家と関わる上での留意点や、援助方法についてカウンセリング論の観点から学んでいく。また栄養指導論の視点をふまえながら、時代と共に変容していく食に関する諸問題の背景についても知見を深める。
5210170A5	分子病態学特論A	井上 裕康	生活環境科学系	前期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	最近のバイオサイエンス分野における成果を踏まえ、食品機能に関する知識や考え方を習得することを目的に講義する。特に、分子レベルで明らかになった食品機能について、最近の研究成果を中心に紹介するとともにその限界や今後の問題点、これらの教育を進めていくのに必要な工夫などを論述する。また最近の文献を講読しながら、その文献から得られる情報、問題点、限界などを明らかにする。
5210180A5	分子病態学特論 B	小倉 裕範	生活環境科学系	後期 金曜日 3・ 4 時限	講義	1年次以上	30時間	2単位	医療の現場で注目されている様々な疾患を取り上げ、それらの疾患が発生する分子的機序を学習する。特に、これまでの研究の展開および現在の研究の最先端を見渡し、今後の研究の方向性を展望したい。 Students will learn underlying molecular mechanism of various diseases that currently attract attention in the field of clinical medicine. In particular, I want to focus on history and future direction of research of the themes.
5210190A5	食安全学特論A	小倉 裕範	生活環境科学系	前期 金曜日 1・ 2 時限	講義	1年次以上	30時間	2単位	食品中に混入する病原性微生物あるいは毒性物質によって引き起こされる健康障がいについて学びます。
5210200A5	食安全学特論B	高村 仁知	生活環境科学系	集中 その他 その 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	近年、単身所帯の増加、女性の社会進出や子どもの塾通いなどに伴う個食化、消費者の簡便志向などによる食生活の変化がもたらした食の外部化、すなわち、外食や中食（調理済み食品の持ち帰り）の利用拡大が生じている。しかし、従来の食事指導は食の外部化に十分対応できていない。本講義では、食の外部化が健康に及ぼす影響をテーマに講述するとともに、これらの知見を教育し、児童が豊かな食の体験を積み重ねて良い食習慣を獲得するためには、どのような教育上の工夫が必要であるか、実際に子ども達にどのように指導するかについて、教材開発、模擬授業を含め実践的、応用的理解を深め、教育課程上の指導力を身に付ける。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5210210A5	食品機能学特論	井上 裕康	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	最近のバイオサイエンス分野における成果を踏まえ、食品機能に関する知識や考え方を習得することを目的に講義する。特に、分子レベルで明らかになった食品機能について、最近の研究成果を中心に紹介するとともにその限界や今後の問題点、これらの教育を進めていくのに必要な工夫などを論述する。また最近の文献を講読しながら、その文献から得られる情報、問題点、限界などを明らかにする。
5210220A5	食品機能管理学 特論A	菊崎 泰枝	生活環境科学系	前期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	食品に含まれる低分子機能成分に焦点をあて、成分の抽出、精製、単離法を論じ、MS、IR、NMR、UV/VIS等の各種機器分析に関して原理、理論、解析法を講義する。
5210230A5	食品機能管理学 特論B	菊崎 泰枝	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	食品に含まれる低分子機能成分に焦点をあて、化学構造と機能性発現との関連性、加工・調理過程における機能性成分の動的変化等に関わる研究動向、問題点、今後の課題等を本分野に関わる国内外の文献を通じて、考察、議論する。
5210240A5	臨床栄養学特論A	外山 健二	生活環境科学系	集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	疾患と栄養との関連について英語の論文を読み、内容について議論を行う。
5210250A5	臨床栄養学特論B		生活環境科学系	集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	疾患と栄養との関連について英語の論文を読み、内容について議論を行う。
5210260A5	栄養疫学特論A	高地 リベカ	生活環境科学系	集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	疫学（実際のヒト集団において生活習慣等と健康事象との因果関係を調査・測定等して明らかにする医学分野）の方法論について概説するとともに、曝露（原因）情報としての「食事評価」の方法について教科書を読み吟味する。ヒトの食生活と健康問題を扱う専門職にふさわしい疫学的思考を養うとともに、ヒト集団を対象とした調査における統計学的手法を演習を交えて学ぶ。
5210270A5	栄養疫学特論B		生活環境科学系	集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	疫学（実際のヒト集団において生活習慣等と健康事象との因果関係を調査・測定等して明らかにする医学分野）の方法論について概説するとともに、曝露（原因）情報としての「食事評価」の方法について教科書を読み吟味する。ヒトの食生活と健康問題を扱う専門職にふさわしい疫学的思考を養うとともに、ヒト集団を対象とした調査における統計学的手法を演習を交えて学ぶ。
5210280A5	食医化学	松田 寛	生活環境科学系	前期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	分子生物学と遺伝子工学の基本を学習し、食健康についての分子レベルでの理解を深められるように解説する。特に癌や糖尿病などの細胞内情報伝達系を取り上げ、疾病と健康との差異を医化学的アプローチで考察する
5210290A5	食医化学演習	松田 寛	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	バイオテクノロジーの進歩を示すテーマを取り上げ、食健康についての分子レベルでの理解を深めるため、最新の欧文論文の講読と討論を行い、医化学的な論点を解説する。
5210300F5	食物栄養学特別 研究A	全教員	生活環境科学系	その他 その他	論文指導	1年次以上		5単位	修士の学位取得を目指した研究を行う。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
5210310F5	食物栄養学特別 研究B	全教員	生活環境科学系	その他 その他	論文指導	1年次以上		5単位	食物栄養学専攻各教員が、各自の研究テーマに関する実験等および修士論文作成を指導する。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
5250010A5	住居論	室崎 千重	生活環境科学系	前期 火曜日 5・ 6時限 F 5 0 1	講義	1年次以上	2時間	2単位	人口減少・少子高齢社会、雇用の不安定・流動化、晩婚化などの社会環境の変化の中で、多様化する家族のあり方とそのライフスタイルによる新たな住要求を探り、これからの住まいのあり方を議論する。また、高齢者や障がいのある方にも暮らしやすい住まい・まちのあり方を考察する。
5250020B5	住居論演習	室崎 千重	生活環境科学系	後期 水曜日 5・ 6時限、後期 水曜 日 7・8時限	演習	1年次以上	4時間	4単位	住宅計画における住生活・住意識・住空間の対応関係、住様式と住宅平面の関係、生活に対応した住宅のかたちと住宅計画のあり方について解説した後、建築家による住宅作品を、「新しい住まいと住生活の創造」という視点から探り、生活視点から住居計画・設計における創造性を高めるための演習を行う。
5250030A5	住環境史論	坂井 禎介	生活環境科学系	前期 木曜日 3・ 4時限 E 2 5 1	講義	1年次以上	2時間	2単位	日本の歴史的建築は、予算や時間が許す範囲内で、当時の人が考えうる限りの技術や材料で作られてきた。それらには、当時の人が編み出した知恵や美的感覚が様々隠されているが、それを理解するためには、建築の作り方を理解することが必須である。歴史的建築の作り方を理解することで、建築単体でなく、美的感覚や歴史的建築の内部構成や建築技術や社会的背景や生産組織まで含めた、建築の包括的理解を深めることを目標とする。授業内容に関する各自の感想や疑問を問うことで対話的な授業にする
5250040B5	歴史遺産保存活用 演習	坂井 禎介	生活環境科学系	後期不定期 その他	演習	1年次以上	60時間	4単位	伝統的な居住環境を構成する歴史遺産の実態を、奈良を中心とする古都の環境の中で、古建築や修理現場の見学を中心に、現代生活を成立させている伝統文化と現代的な生活習慣の双方を具体的に理解して、そこから将来の課題を発見・解決する実際的能力を身につける演習です。
5250050A5	建築環境論 I	吉田 伸治	生活環境科学系	後期 月曜日 3・ 4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	建築設計の実務に携わる者が、環境工学分野に関して理解しておくべき、環境の診断・予測・設計にかかわる理論と実践に関する講義を行う。安全で快適な生活を営むための環境の計画方法について、建築環境と利用者の両面から取り上げ、環境計画の要件について講述するとともに、自然エネルギーの活用と年齢などの生活者の属性に配慮した環境の計画方法を解説する。 建築環境論Iでは、主として温熱環境や音・熱・光など複数の要因が相互に影響を及ぼす環境を取り上げる。
5250060B5	建築環境論演習 I	吉田 伸治	生活環境科学系	前期不定期 その他	演習	1年次以上	60時間	4単位	建築環境論I・IIで習得した理論に基づき、環境の診断・予測・設計の実際に役立つ、理論計算演習、各測定法演習を行う。 建築環境論演習Iでは、主として数値解析技術に基づく環境予測・評価手法を学び、実践する。
5250070A5	建築環境論 II	許 載永	生活環境科学系	後期不定期 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	快適な環境を構築するためには熱、空気、光、音などの環境刺激要因に関する知識を持った上、環境を利用する主体である人間の心理および生理を深く理解する必要がある。 建築環境論 II では、主として光、視環境に着目し、人間の心理・生理について学習する。
5250080B5	建築環境論演習 II	許 載永	生活環境科学系	前期不定期 その他	演習	1年次以上	60時間	4単位	人間が空間を知覚・認知するプロセスやメカニズムを理解することで、快適な環境づくりのための要件を知り、実際の設計に反映することができる。本授業では、照明設計に必要な理論知識を取得した上で、照明設計ソフト（Dialux）を用いた照明設計を実習する。
5250090A5	住環境デザイン論	加藤 亜矢子	生活環境科学系	前期 木曜日 9・ 10時限 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	
5250100B5	住環境デザイン論 演習	加藤 亜矢子	生活環境科学系	後期不定期 その他	演習	1年次以上	30時間	4単位	既存建築を対象として具体的な再生計画を行う。既存環境の分析とともに、独創的なアイデアを練り、新しい住環境のありかたを探求する。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5250110A5	住環境管理論	藤平 真紀子	生活環境科学系	前期 月曜日 7・ 8時限 第4演習 室(A211)	講義	1年次以上	2時間	2単位	住宅の劣化および耐久性について、住宅材料や構法、周囲の環境および維持管理とのかわりについて概説する。また、集合住宅等の共同管理、空き家の管理、住居管理に関わる諸制度について解説する。そして、住居管理の社会化について考察する。
5250120B5	住環境管理論演 習	藤平 真紀子	生活環境科学系	後期 月曜日 7・ 8時限 後期 月曜 日 9・10時限	演習	1年次以上	4時間	4単位	住環境を構成する材料、主として木材および木質材料の諸性能を知り、木造住宅の各部材の使用環境、使用状況および管理状況と劣化とのかわりを理解する。また、住宅の補修、改修の実態を把握し、木造住宅の耐久性評価について理解する。さらに、中古住宅の市場整備について考察する。
5250150A5	生活空間計画論	山本 直彦	生活環境科学系	後期 水曜日 1・ 2時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	中世の民家や社寺建築から、近現代の建築作品、あるいはそれらが織りなす農村・都市景観まで、地域性・時代性を超えて見いだされる日本的アイデンティティの実像を、今日的な視点で再解釈する。
5250160B5	生活空間計画論 演習	山本 直彦	生活環境科学系	前期 水曜日 1・ 2時限 F501 前期 水曜日 3・ 4時限 F501	演習	1年次以上	4時間	4単位	本演習は、関西圏の建築系学科で構成される「都市アーキスト会議 (IoUA)」に参加して実施する。 (参加大学：本学以外は、近大、大工大、大産大、大市大、京大、京工繊大、龍谷大、神戸大、岡山大、滋賀県大ほか) 都市空間や都市施設など大都市のアーバンデザインに関するフィールドサーベイを行う。これまで3年単位で宿泊施設や駅とその周辺空間をテーマにしてきました。本年度の調査対象空間は、シラバス作成時点で未定だが、共通テーマを設定予定である。調査対象空間について、アクティビティ、オペレーション、経済要素、空間構成など多様な視点から調査し、そのアーカイブ・記録を作成する。さらに、こうした記録から得られた知見を生かして最終的には調査対象空間の改良計画を提案する。
5250170A5	都市政策論	中山 徹	生活環境科学系	後期 火曜日 7・ 8時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	(1) 最近の都市計画・まちづくりに関する制度・計画から重要なものを数項目選び、それについて学習・議論を行う。各々の項目について担当者を決める。担当者は、あらかじめ資料を集めて討議資料を作成する。また、担当者がプレゼンを行い、それに基づいて議論し、理解を深める。 (2) ニュータウン、密集市街地、都心部などの見学会を行う。各々担当者を決め、あらかじめ見学会資料を作成する。
5250180B5	都市政策論演習	中山 徹	生活環境科学系	不定期 その他 そ の他 その他	演習	1年次以上	60時間	4単位	国際交流協定を締結している台湾・東海大学、朝陽科技大学と年2回、合同でフィールド調査を行う。1回目は7月頃に奈良県で行う。期間は7日間程度。フィールドに出るのは4日間程度。2回目は12月頃に台湾で行う。期間は7日間程度。
5250190A5	住居計画学特論	平山 洋介	非常勤講師	集中 その他 そ の他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	住居の設計・デザイン、住宅市場と住宅政策、住空間の再生計画などを検討するところから、住環境のあり方を考える。
5250200A5	景観設計論	根本 哲夫	生活環境科学系	後期 金曜日 9・ 10時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	景観を自然環境に対する人為的干渉の結果として土地の上に立ち現れる視覚像と定義し、その生成のメカニズムとプランニングならびにコントロールの方法について論述する。一連の講義のシーケンスは大きく2つにわけられ、景観デザインの系譜を概観するとともに、そのデザインプロセスの理論的な枠組みを提示するものと、具体的な事例を通じて実践的な課題について考えるためのデザインサーヴェイの双方を交互に実施する。
5250210B5	景観設計論演習	根本 哲夫	生活環境科学系	前期 金曜日 7・ 8時限 第5演習 室(A212) 前期 金曜日 9・ 10時限 第5演 習室(A21 2)	演習	1年次以上	4時間	4単位	公園緑地、集合住宅地、歴史的景観地区、中心市街地などのオープンスペースと建築群を対象として、具体的なランドスケープデザインや都市デザインの手法を実践的に習得する。特に環境に配慮したエコロジカルな観点から、審美的な価値の創造にむけたデザインの手法の可能性について試行するものとする。
5250230A5	住環境学特別講 義A	平手 小太郎	非常勤講師	集中 その他 そ の他 その他	講義	1年次以上	15時間	1単位	建築・住居分野のための広義の環境心理学について、体系的な観点から概観し解説します。この学問領域は、物理的環境や社会的環境と人間のあらゆる関係および互いの働きかけを扱う学際領域です。環境からの刺激を受け人間が反応し、また環境が人間に型を付与し人間が環境を改変します。このような環境と人間行動との関係性を解明し、快適環境創造に向けたデザインや政策などへの寄与を目指すものです。今回の授業では特に環境知覚に焦点を当て講義を行います。
5250250A5	建築構造デザイン 論	角田 功太郎	生活環境科学系	後期 金曜日 3・ 4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	本授業では、構造分野に関連して理解しておくべき、構造設計、耐震設計の理論と実践に関する講義を行う。具体的には構造設計の基本仮定や外力計算方法の解説、各種構造の構造設計手法について解説する。なお、学部の構造系科目(力学や振動論、実習等の科目)を理解していることを前提に進めていく。
5250260B5	住居防災計画論 演習	角田 功太郎	生活環境科学系	前期 木曜日 5・ 6時限 その他 前 期 木曜日 7・8 時限 その他	演習	1年次以上	4時間	4単位	本授業では、構造分野に関連して理解しておくべき、構造設計、耐震設計の理論と実践に関する演習を行う。外力計算、各種構造の許容応力度設計について演習を通して理解する。なお、学部の構造系科目(力学や振動論、実習等の科目)を理解していることを前提に進めていく。
5250330F5	住環境学修士研 究指導Ⅰ	全教員	生活環境科学系	後期不定期 そ の他 その他	論文指導	1年次	60時間	4単位	1) 住環境に関わるこれまでの学習・研究を基礎に、専門的な研究課題に取り組み、修士の学位に相応しい論文を作成するための指導を受ける。 2) 修士研究を遂行するために、主任指導教員と副指導教員からなる複数教員による指導を受ける。 受講生は、都市・地域計画学(中山徹)、景観設計(根本哲夫)、生活空間計画学(山本直彦)、住環境デザイン学(加藤亜矢子)、建築環境学(吉田伸治)、住生活学(室崎千重)、住環境工学(許載永)、建築材料学(中村航)、いずれかのコースを選択する。
5250340F5	住環境学修士研 究指導Ⅱ	全教員	生活環境科学系	前期不定期 そ の他 その他 そ の他	論文指導	2年次	60時間	4単位	1) 住環境に関わるこれまでの学習・研究を基礎に、専門的な研究課題に取り組み、修士の学位に相応しい論文を作成するための指導を受ける。 2) 修士研究を遂行するために、主任指導教員と副指導教員からなる複数教員による指導を受ける。 受講生は、都市・地域計画学(中山徹)、景観設計(根本哲夫)、生活空間計画学(山本直彦)、住環境デザイン学(加藤亜矢子)、建築環境学(吉田伸治)、住生活学(室崎千重)、住環境工学(許載永)、建築材料学(中村航)、いずれかのコースを選択する。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5250350F5	住環境学修士研究	全教員	生活環境科学系	不定期 その他 その他	論文指導	2年次	60時間	4単位	1) 住環境に関わるこれまでの学習・研究を基礎に、専門的な研究課題に取り組み、修士の学位に相応しい論文を作成するための指導を受ける。 2) 修士研究を遂行するために、主任指導教員と副指導教員からなる複数教員による指導を受ける。 受講生は、都市・地域計画学（中山徹）、景観設計（根本哲夫）、生活空間計画学（山本直彦）、住環境デザイン学（加藤亜矢子）、建築環境学（吉田伸治）、住生活学（室崎千重）、住環境工学（許載永）、建築材料学（中村航）、いずれかのコースを選択する。
5250360F5	住環境修士設計 I	根本 哲夫,加藤 亜矢子	生活環境科学系	後期不定期 その他 その他	論文指導	1年次	60時間	4単位	約1年6ヶ月をかけて行う修士設計の第一段階として、とりあげるテーマに関係する既往研究や既往事例のレビューを行う。続いて対象とする敷地に関する分析評価を行い、制度的・技術的な検討をふまえて設計条件と設計プログラムをとりまとめる。 受講生は、景観設計（根本哲夫）、住環境デザイン（加藤亜矢子）、いずれかのコースを選択する。 また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
5250370F5	住環境修士設計 II	根本 哲夫,加藤 亜矢子	生活環境科学系	前期不定期 その他 その他	論文指導	2年次	60時間	4単位	住環境修士設計 I の成果をベースとして設計プログラムを精査するとともに、設計コンセプトを立案する。続いて敷地における建築群等の配置や機能のゾーニング、動線計画を検討し、それらに基づいて建築計画とそれらが集合する都市景観の構成について代替案を比較検討する。 また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
5250380F5	住環境修士設計 III	根本 哲夫,加藤 亜矢子	生活環境科学系	不定期 その他 その他	論文指導	2年次	60時間	4単位	住環境修士設計 II の成果をベースとして、具体的な空間や景観の形態を検討し、技術的側面を加味しつつ最終的な設計案を提示する。また、テーマやコンセプト、さらには設計の意図を最も的確に表現することのできるプレゼンテーションの技術を習得する。
5260010A5	生活史論	鈴木 則子	生活環境科学系	前期 水曜日 3・4 時限 D407	講義	1年次以上	2時間	2単位	日本近世の医学史に関する講義。
5260020B5	生活史論演習	鈴木 則子	生活環境科学系	後期 水曜日 3・4 時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	前近代の医学史・身体史に関する講義と書籍輪読。
5260030A5	比較人間関係論	安藤 香織	生活環境科学系	前期 月曜日 7・8 時限 E322	講義	1年次以上	2時間	2単位	「社会的ジレンマの処方箋：都市・交通・環境問題のための心理学」をテキストとし、輪読を行う。社会的ジレンマの基本的理論について学び、その構造を理解しつつ人間の行動を変容するための方法を考える。環境配慮行動は通常社会的ジレンマの構造を有しており、なぜ環境問題への関心が高くても行動に結びつかないのかを理解するためには社会的ジレンマの理解が必要である。行動を変容するための情報提供やコミュニケーション、構造変革などのアプローチについて学ぶ。輪読形式でレポーターが発表し、受講者全員でディスカッションを行う。テキスト以外の文献を講読する場合もある。注：受講希望者で1回目の授業に欠席する場合は、安藤まで事前に連絡して下さい。教科書の購入必要。
5260040B5	比較人間関係論演習	安藤 香織	生活環境科学系	後期 月曜日 7・8 時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	社会心理学分野における日本語、英語の文献（論文）を講読し、同分野における最近の話題について学ぶ。特に環境社会心理学分野の動向について学ぶ。発表者がレジュメを作成して論文の内容を報告し、全員でディスカッションを行う。論文の読み方、統計的結果の解釈を学ぶ。 注： 受講希望者で1回目の授業に欠席する場合は、安藤まで事前に連絡して下さい。
5260050A5	家族社会学	澤田 佳世	生活環境科学系	前期 月曜日 5・6 時限 E322	講義	1年次以上	2時間	2単位	本授業では、人口と家族の社会学的研究に関する基礎的な研究書やテキスト、論文を読み、人口と家族、その周辺事象に関する重要な問題群や研究動向、基本的な概念・理論について学ぶ。文献講読とディスカッションを通じ、社会現象としての人口と家族の変動について、生活者の視座にたち、実証的・理論的に探究する社会（科）学の方法にもふれていく。本授業の内容に関連し、応用・補完可能な専門的知識を得るため、映像視聴やゲスト講師を招くこともある。（注）受講希望者は必ず備考を参照すること。
5260060B5	家族社会学演習	澤田 佳世	生活環境科学系	後期 月曜日 5・6 時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	本演習では、現代社会における人口と家族の変動、その周辺事象について、実証的・理論的に探究する社会学的研究の方法論を学ぶ。前半は主に日本語および英語の専門書・学術論文を講読し、人口・家族現象を理解するための社会学的な基礎概念と理論、研究方法を学ぶ。後半は文献講読で学んだ概念・理論と研究方法を発展的に応用し、各自の研究課題と研究分析手法を検討する。本授業の内容に関連し、応用・補完可能な専門的知識を得るため、映像視聴やゲスト講師を招くこともある。（注）受講希望者は必ず備考を参照してください。
5260070A5	消費者法制度論	大塚 浩	生活環境科学系	前期 木曜日 7・8 時限 E320	講義	1年次以上	2時間	2単位	法は私たちの生活にどのようにかわってくるのか、法の「消費者」の視点から日本の法システムに対して批判的分析を行う。法システムのそれぞれの領域ごとの検討を通して、法を実際にこの社会に実現していく上でどのような問題があるのかを学ぶ。また、わたしたちは社会正義など何らかの公益的な目的実現の道具として法を理解することがあるが、そもそも法にそのような役割を期待しうのだろうか。さらには、新しい法を作り出すことによって望ましい社会変化が生じることを期待しうのだろうか。これらの観点から、法社会学的な観点によりつつ、現代社会特有の問題と法とのかかわりに関して、毎回担当を決めての文献の輪読と、参加者全員でのディスカッションを中心に進める。毎回使用する文献の予習が求められる。また、適宜ビデオ教材の視聴や、法システムの作動の現場を実際に観察するため、裁判所、刑務所、消費生活センターなどを対象に、可能な範囲において、外部見学の機会を設ける予定である。
5260080B5	消費者法制度論演習	大塚 浩	生活環境科学系	後期 水曜日 3・4 時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	法は私たちの生活にどのようにかわってくるのか、法の「消費者」の視点から日本の法システムに対して批判的分析を行う。法システムのそれぞれの領域ごとの検討を通して、法を実際にこの社会に実現していく上でどのような問題があるのかを学ぶ。また、わたしたちは社会正義など何らかの公益的な目的実現の道具として法を理解することがあるが、そもそも法にそのような役割を期待しうのだろうか。さらには、新しい法を作り出すことによって望ましい社会変化が生じることを期待しうのだろうか。これらの観点から、法社会学的な観点によりつつ、現代社会特有の問題と法とのかかわりに関して、「消費者法制度論」の内容を踏まえ、さらに応用的な検討を進める。具体的には、この授業では、実際の事例を踏まえつつさまざまな社会制度や社会問題と法のかかわりについて学ぶことになる。担当を決めての文献の輪読と、受講者全員でのディスカッションを中心に進める。使用する文献の予習が求められる。また、適宜ビデオ教材の視聴を行うほか、法システムの作動の現場を実際に観察するため、裁判所、消費生活センターなどを対象に、可能な範囲で外部見学の機会を設ける予定である。さらに、授業で取り上げたテーマと関連付けた発展的なリサーチの実施を求める。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5260130A5	表象文化論	山崎 明子	生活環境科学系	前期 木曜日 5・6時限 E307	講義	1年次以上	2時間	2単位	美術と音楽をめぐるジェンダーの視点による表象分析と歴史研究について講読中心に授業をします。表象は、私たちの日常生活の中に無数に存在しながら無意識に受容することが多くなっています。これらの表象は、制作された社会背景や制作者の意図を考察しながら読み解いていくことができます。この授業では、既存の美術史・音楽史の枠組みを超えて、現在の私たちの生活にあふれる様々なイメージを読み解いていくための方法を講義し、表象が生成・消費される政治学を特にジェンダーの視点から検討します。
5260140B5	表象文化論演習	山崎 明子	生活環境科学系	後期 木曜日 5・6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	ジェンダーの視点による表象分析と歴史研究について受講者の関心に沿って演習を行います。表象は、私たちの日常生活の中に無数に存在しながら無意識に受容することが多くなっています。これらの表象は、制作された社会背景や制作者の意図を考察しながら読み解いていくことができます。この授業では、現在の私たちの生活にあふれる様々なイメージを読み解いていくために、表象が生成・消費される仕組みを検討します。
5260150A5	消費経済学	青木 美紗	生活環境科学系	前期 月曜日 5・6時限 E307	講義	1年次以上	2時間	2単位	本講義では、消費行動の背景にある社会構造について基本的な知識を深めるために教科書を輪読し、関連する研究論文や文献を読むことで理論と現象を関連付け、研究を遂行する上での基礎知識を習得する。
5260160B5	消費経済学演習	青木 美紗	生活環境科学系	後期 木曜日 3・4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	本講義では、近年目指されている消費者市民社会について学ぶため、食の分野に着目して市民としての食料消費について文献購読によって理論と研究手法を身につける。文献購読は主に英語のものを取り上げる。後半では、学んだ理論と研究手法を参考に自身の興味関心に沿った研究テーマ設定と研究分析手法の検討を行う。
5260170A5	比較歴史学	林田 敏子	生活環境科学系	前期 金曜日 3・4時限 E218-1	講義	1年次以上	2時間	2単位	「語り (narratives)とジェンダー」をテーマに、比較の観点からジェンダー史の方法論を提示する。一人称で記された「エゴ・ドキュメント」がもつ史料としての可能性を、戦争に関する女性の語りという観点から考察する。
5260180B5	比較歴史学演習	林田 敏子	生活環境科学系	後期 金曜日 3・4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	比較ジェンダー史の観点から、史料としての「語り (narratives)」がもつ可能性を探り、個の経験と世界の構造化の相互作用について考える。手紙や日記、回想録、インタビューなど、一人称による「語り」の分析を通して、権力や文化の中心から排除された人々の歴史を再構成する。史料読解、論点の抽出、プレゼンテーション、討論を軸に演習をおこなう。
5260170F5	生活文化学特別研究	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他 その他	論文指導	1年次以上		8単位	人間の生活や生活文化に関する課題の発見から、課題解決のための資料の収集、分析、考察、結論の提示、それらをもとにした論文作成までの一連のプロセスを、学生一人一人の問題意識に応じて個別に指導する。 また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
5241020A5	生活工学概論A	全教員	生活環境科学系	後期 月曜日 7・8時限	講義	1年次以上	1時間	1単位	生活工学に関わる工学および家政学分野の学問領域の有機的な統合をはかり、広い視野にたち、人間生活における諸問題について検討する。
5241040A5	生活工学概論B	生活工学共同専攻教員 (お茶大)	お茶の水女子大学	前期 月曜日 5・6時限 S227	講義	1年次以上	1時間	1単位	各教員によるオムニバス形式講義とする。
5241080A5	生活工学物理化学	生活工学共同専攻教員 (お茶大)	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	15時間	1単位	熱力学と反応速度論より、特に研究を進める上で必須の事項に絞り、講義を行う。
5241090A5	生活工学計測論 (センサ工学)	才脇 直樹, 佐藤 克成, 吉田 哲也	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	15時間	1単位	人間や環境の状態を知り、また、それに応じた知的な振る舞いを生成するためには、各種センサによる情報の計測と分析が必須である。本講義では、異分野出身者や初心者、計測機器の仕組み、使い方からデータ取得・分析までの基礎を、短期間で効率よく身につけることができる。
5241120A5	生活工学計測論 (電子・制御工学)	生活工学共同専攻教員 (お茶大)	お茶の水女子大学	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	15時間	1単位	生活工学分野において必要となる、電子工学的事項ならびに制御工学的事項を理解する。電子工学事項としては、電気工学の基礎、電子デバイス、電子回路の考え方、アナログ回路、デジタル回路、過渡応答、周波数応答などについて学ぶ。制御工学事項としては、ラプラス変換法、伝達関数法、古典制御と現代制御などについて学ぶ。
5241130A5	生活工学計測論 (生活空間)	久保 博子, 藤平 真紀子, 藤田 盟 児	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	15時間	1単位	生活空間での環境や空間、人間行動、人間の反応など様々な計測方法について実践的知識を習得し、測定結果をどのように生活空間の計画に生かすか議論を重ねながら検討する実践的能力を養成する。
5241140A5	生活工学材料解析論	黒子 弘道, 大背 戸 豊, 山本 健太郎	生活環境科学系	前期 火曜日 3・4時限 D418	講義	1年次以上	1時間	1単位	素材の性能・性質はその分子構造に起因する部分が極めて大きい。このため、生活の中で快適に使用するためには詳細な分子構造を知る必要がある。このため、固体NMR、走査型電子顕微鏡 (SEM)、X線吸収分光法等の原理および得られたデータの解析方法を学ぶ。
5241150A5	生活工学特別講義A	久保 博子, 才脇 直樹	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	15時間	1単位	生活工学に関わる幅広い周辺領域の研究テーマについて、大学や企業等の第一線で活躍してる方々から直接話を伺って理解を深める
5241160A5	生活工学特別講義B	生活工学共同専攻教員 (お茶大)	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	15時間	1単位	生活工学に関わる最新の話題に関し、担当教員が講義するとともに、大学や企業、研究機関等の研究者等による研究事例紹介を行う。
5241170A5	研究者倫理	生活工学共同専攻教員 (お茶大)	お茶の水女子大学	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	15時間	1単位	専門的な知識や技能と同様に、倫理は専門職としての研究者にとって不可欠な基盤の一つである。本講義では、具体的な事例を交えながら、生活工学分野の研究者として研究活動を行う上で必要な研究者倫理の基礎を学ぶ。研究者倫理を担う一人の研究者として主体的に倫理に取り組むための土台作りをする。
5241180A5	技術者倫理	全教員	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	15時間	1単位	科学技術は人類の生活を豊かにしてきたが、反面社会に大きな影響を与えるようになってきた。科学技術に携わる者は、高度な専門的知識だけでなく、高い責任感と倫理観をもって仕事に取り組みなければならない。科学技術や産業に関係する法律を学び、環境問題、エネルギー問題、品質問題、安全問題などに対して科学技術がかかわる種々の課題を認識し、科学技術が社会と密接に関係していることを理解し、将来科学技術に携わる者として必要なしっかりした善悪の基準 (倫理) を学ぶ。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5241210A5	知的財産論	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	前期 火曜日 7・ 8時限 D418	講義	1年次以上	1時間	1単位	知的財産のマネジメントはイノベーション創出に欠かすことができない。知的財産権の制度概要とそれの産業発展や技術開発における意義、また生活工学諸分野の研究推進との関連について理解する。
5241220B5	研究計画演習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 そ 他 その他	演習	1年次以上	15時間	1単位	本講義では、研究を具体的に計画し、進める際に、何をポイントに考えればよいか、また、それをどのように文章や図で表現すればよいかを学ぶことを目標とします。研究をプランニングし効果的に発信する方法を学んでください。
5242010A5	繊維構造論	黒子 弘道	生活環境科学系	前期 金曜日 3・ 4時限 D418	講義	1年次以上	2時間	2単位	繊維はほとんど全て高分子材料であり、繊維材料の性質は、高分子中の結晶、非晶ならびにその中間領域の構造に大きく依存する。高分子・繊維の構造について概説し、固体高分解能NMRにより求まる化学シフトならびに緩和時間の変化の情報をもとに、高分子・繊維の構造と物性との関連について講述する。
5242020B5	繊維構造論演習	黒子 弘道	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	繊維・高分子材料の構造に関連する内外の研究論文を講読し、その内容について議論、討論を行い、より深く繊維・高分子材料の構造を理解する。
5242400A5	繊維構造解析論	大背戸 豊	生活環境科学系	前期 月曜日 9・ 10時限 S22 7	講義	1年次以上	2時間	2単位	生活の中の重要な役割を果たすアパレル材料である繊維材料を正しく理解し、使用するためには、正しく分析評価する必要がある。繊維材料の多様な時空間スケールでの“構造”（分子構造、分子集合構造、組織化構造、周期構造の高次構造等）は特徴的な物性を発現する源となっている。本講義では、このような多様な構造を明らかにする分析・解析・評価手法を学ぶ。本講義での分析・解析手法の学習により、繊維＝物質・材料の巨視的に様々な構造や、構造に起因する物性を理解し、より深いレベルでのアパレル材料の見方を獲得できる。
5242410B5	繊維構造解析論 演習	大背戸 豊	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	生活の中の重要な役割を果たすアパレル材料である繊維材料が構成する多様な時空間スケールでの“構造”（分子構造、分子集合構造、組織化構造、周期構造の高次構造等）の分析・解析評価法を正しく理解するためには、これらを用いた研究論文を正しく読み解くことが必要である。本講義では、繊維材料の解析を用いた研究論文を講読し、内容について議論することで、多様な分析・解析・評価手法についてさらに学習・理解を深める。本講義での分析・解析手法の研究論文についての講読及び議論により、より深いレベルでのアパレル材料の実践的な見方を獲得できる。
5242420A5	分子デザイン論	三方 裕司	生活環境科学系	前期 水曜日 1・ 2時限 D418	講義	1年次以上	2時間	2単位	機能性分子をデザイン・合成し、その機能を適切に評価し、さらにその結果をフィードバックし新たな分子設計に応用するという研究プロセスを講義する。講義前半では機能性分子の合成に必要とされる有機化学の基礎的事項の復習と確認を行い、講義後半では具体的な研究例を紹介する。
5242430B5	分子デザイン論演 習	三方 裕司	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	「分子デザイン論」での講義内容をもとに、機能性分子をデザイン・合成し、その機能を適切に評価し、さらにその結果をフィードバックし新たな分子設計に応用するという研究プロセスを講義する。講義前半では機能性分子の合成に必要とされる有機化学の基礎的事項の確認と定着を問題演習を通して行い、講義後半では最新の学術論文を輪読し、その研究方法および分子設計についての議論を通して理解を深める。
5242480A5	環境・エネルギー材 料構造論	山本 健太郎	生活環境科学系	前期 金曜日 9・ 10時限 D41 8	講義	1年次以上	2時間	2単位	半導体、イオン伝導体などに代表される無機固体材料は人間の生活にとって必要不可欠なものであり、その構造と物性との関係を正しく理解することは新しい無機固体材料を創出する上で重要である。本講義では、結晶構造、格子欠陥、拡散、相転移、X線回折、固体の合成方法などについての基本概念を説明する。
5242490B5	環境・エネルギー材 料構造論演習	山本 健太郎	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	無機固体の環境・エネルギー材料の構造と物性に関する英語で書かれた最新の学術論文を読み、その内容を要旨および発表会形式で紹介することを通じて、文献調査の方法、内容を的確に要約し定められた時間で発表することを学ぶと共に、関係する学問分野の最先端に触れる。
5242070A5	衣住機能材料特 論	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期 木曜日 3・ 4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	生活に関わる材料である、高分子材料、金属材料、セラミック材料などについて、それぞれの材料に特徴的な性質を理解する。また、材料の環境に与える影響を、製造、リサイクル、エネルギーの観点から考察した後に、燃料電池、分離機能材料、生分解性材料など、環境調和を意識した新しい材料の化学をトピック的に学ぶ。
5242080B5	衣住機能材料演 習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	前期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	特に、機能と構造の関係、機能と高分子-低分子間相互作用などに関して検討を行う。高分子中の低分子の拡散と吸着、高分子中の水の状態、高分子ゲルの外部刺激に対する収縮と膨潤、イオンと水和などの基礎的事項、また、具体的な機能材料、たとえば、高吸水性高分子などについて学ぶ。
5242090A5	衣環境学特論	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	前期 金曜日 7・ 8時限 D418	講義	1年次以上	2時間	2単位	生活工学の観点から衣服の着心地に大きく影響する衣環境に関して論じる。衣服内の温湿度と快適感、衣服材料の吸湿性、保温性、通気性などの性質と衣環境との関連、人間の発汗や体温維持などの温熱生理学、快適性評価などについて理解する。
5242100A5	衣環境学演習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	衣服を構成する材料である、繊維、糸、布の備えるべき性質について概説するとともに、最新のトピックに触れる。主に、衣服材料の構造と、力学的性質および熱・水分の移動特性などとの関係について考察する。
5242110A5	生活メディア情報 論	才脇 直樹	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	スマートテキスタイルやIoT、音楽情報処理や映像情報処理、モーションキャプチャや筋電図・脳波といった生体情報処理、あるいは生活環境に関する情報処理等に共通する計測・分析・生成技術を基盤として、生活に役立つヒューマンインタフェースの観点から、電子ガジェットやウェアラブルなシステム、エンターテインメント・コンピューティング、健康管理、情報化農業に至る生活産業の情報メディア技術について概観する。その際、注目すべき最新の技術トレンドに焦点をあわせ、その最新技術が上述した様々な分野をどのように変革していくのかという観点から議論を進める。さらに、受講者自身が興味を持っている生活産業情報関連技術について、調査・発表・討論も行うインタラクティブな講義である。
5242115A5	生活メディア工学	才脇 直樹	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	スマートテキスタイルやIoT、音楽情報処理や映像情報処理、モーションキャプチャや筋電図・脳波といった生体情報処理、あるいは生活環境に関する情報処理等に共通する計測・分析・生成技術を基盤として、生活に役立つヒューマンインタフェースの観点から、電子ガジェットやウェアラブルなシステム、エンターテインメント・コンピューティング、健康管理、情報化農業に至る生活産業の情報メディア技術について概観する。その際、注目すべき最新の技術トレンドに焦点をあわせ、その最新技術が上述した様々な分野をどのように変革していくのかという観点から議論を進める。さらに、受講者自身が興味を持っている生活産業情報関連技術について、調査・発表・討論も行うインタラクティブな講義である。

# 【大学院前期課程 生活環境学系】

# 2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5242120B5	生活メディア情報 論演習	才脇 直樹	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	生活メディア情報論でとりあげた電子デバイスや計測装置といったハードウェアや各種制御用ソフトウェア、プログラム言語等を使って、それぞれが自主的に生活産業に関連した具体的な事例を対象とした情報処理システムやコンテンツの製作に取り組み、成果発表を行うPBL型の総合演習である。
5242125B5	生活メディア工学 演習	才脇 直樹	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	生活メディア情報論でとりあげた電子デバイスや計測装置といったハードウェアや各種制御用ソフトウェア、プログラム言語等を使って、それぞれが自主的に生活産業に関連した具体的な事例を対象とした情報処理システムやコンテンツの製作に取り組み、成果発表を行うPBL型の総合演習である。
5242130A5	データ解析論	吉田 哲也	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	統計的な考え方や線形代数を復習し、人間や生活環境などに対する多次元データを解析するための主成分分析など、線型モデルに基づくデータ解析手法を学ぶ。
5242140B5	データ解析論演習	吉田 哲也	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	データ解析論で学んだ手法を、人間や生活環境などに対するデータに適用し処理することを通じて、自らの研究手法、評価方法について検討し、ディスカッションする。
5242150A5	衣環境情報処理 論	佐藤 克成	生活環境科学系	前期 金曜日 5・ 6時限 D 4 1 8	講義	1年次以上	2時間	2単位	快適な衣生活の実現には、コンピュータを用いた衣服の設計や布地の物性評価、人の感性評価が必要となっている。本講義では、それらに関連した基礎的な情報技術を学ぶ。具体的には、コンピュータグラフィクスや画像処理の技術、布の物性評価方法、心理物理学や感性工学を用いた人の知覚・認知の評価方法を学ぶ。
5242160B5	衣環境情報処理 論演習	佐藤 克成	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	快適な衣生活の実現には、アパレルCADや布地の物性評価、人の感性評価が必要となっている。本講義では、それらに関連した基礎的な情報技術を、実体験を通して学ぶ。コンピュータグラフィクスの作成や画像処理を実行する。また、布の物性評価、心理物理学や感性工学を用いた人の知覚・認知の評価実験を計画・実施し、Pythonなどを用いて結果の解析を行う。
5242170A5	生活医用福祉工 学	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	近年の科学技術の進歩は医療や福祉の質の向上に大きく貢献してきた。その一方で、今後は倫理・医療経済に関する問題が世界各国で社会的課題となることが予想される。ここでは、科学技術をこの分野にどのように応用し、問題解決を図るかが一層問われることとなる。本講義では医療・福祉のための工学技術につき、理解を深めることを目的とし、各種の医療デバイス・機器システムについて学ぶ。とくに、生活者のQOLを向上させるための技術的課題について学ぶ。
5242180A5	生活生体工学	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期 火曜日 5・ 6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	医療や福祉の現場では様々なデバイスやシステムが利用されている。それらの機器の原理を理解するために、生体の各種特性について学ぶ。具体的には、生体の電気的特性、磁気的特性、機械的特性、熱的特性、光学的特性などについて学ぶ。加えて、人体からの情報収集方法として、人体にエネルギーを与えることなく生体情報を収集・計測する技術、人体にエネルギーを与えることで、生体情報を収集・計測する技術について学ぶ講義する。エネルギーの移動は侵襲性に結びつく。生活上の不便さを低減させQOLを向上させるためには、侵襲性を低く保つことが必須であることを理解する。
5242210A5	環境人間工学特 論	久保 博子	生活環境科学系	後期 木曜日 1・ 2時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	生活環境の人間生活への影響に関する実験やフィールド調査等の方法および、人体への生理的、心理的、行動的影響を測定する手法及びその結果の評価方法について論文輪読により検討し、ディスカッションを行うことにより、手法等に関して理解を深める。
5242220B5	環境人間工学演 習	久保 博子	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	生活環境の人間生活への影響に関する実験や調査の関連文献を購読し、ディスカッションしながら、得られた結果や評価に関する検討を行う事により理解を深める。さらに実際に機器等を使用して検討を行う。
5242230A5	住環境管理論	藤平 眞紀子	生活環境科学系	前期 月曜日 7・ 8時限 D 4 1 8	講義	1年次以上	2時間	2単位	住宅の劣化および耐久性について、住宅材料や構法、周囲の環境および維持管理とのかかわりについて概説する。また、集合住宅等の共同管理、空き家の管理、住居管理に関わる諸制度について解説する。そして、住居管理の社会化について考察する。
5242240B5	住環境管理論演 習	藤平 眞紀子	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	住環境を構成する材料、主として木材および木質材料の諸性能を知り、木造住宅の各部材の使用環境、使用状況および管理状況と劣化とのかかわりを理解する。また、住宅の補修、改修の実態を把握し、木造住宅の耐久性評価について理解する。さらに、中古住宅の市場整備について考察する。
5242250A5	居住空間再生論	藤田 盟児	生活環境科学系	前期 木曜日 3・ 4時限 S 2 2 7	講義	1年次以上	2時間	2単位	我々が暮らす居住空間は、人間に共通する性質に基づく基本的性質と、それぞれの環境に基づく文化的性質の2種類がある。それを区別せず取り扱うことは、感性的価値の実現を困難にし、居住空間の再生が失敗する主因になる。そこで居住空間を再生し良好に維持管理する上で必要な、人間性と歴史文化の関係、自然環境との関係、感性的価値の内容について、グローバルな観点から講義し、居住空間再生に関して国際的素養をそなえた専門家になるために必要な基礎知識を学修する。
5242260B5	居住空間再生論 演習	李 暉	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	伝統的な居住環境を構成する歴史遺産の実態を、奈良を中心とする古都の環境の中で、古建築や修理現場の見学を中心に、現代生活を成立させている伝統文化と現代的な生活習慣の双方を具体的に理解して、そこから将来の課題を発見・解決する実際的能力を身につける演習です。
5242270A5	建築意匠特論	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	前期 木曜日 5・ 6時限 S 2 2 8	講義	1年次以上	2時間	2単位	建築の設計行為は、実践と思考の飽くなき繰り返りであり、傑作と呼ばれる作品は、両者の相互作用の類希なる成果である。中世から現代にいたるまで、当時の設計理論や建築家職能との関連から、建築にあらわれた意匠の意義を検討する。その成果を通じて、建築物の設計論、創作論に発展させ、実践的な建築設計に生かすことを検討する。
5242280B5	空間デザイン演習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	住宅や公共施設など、中小規模の建造物（RC、Sを含む混構造）を対象としその設計過程を講義する。また具体的な建築設計の実習課題を通じて、素材や構造、設備や機能など、建築を取り巻く諸条件を把握し、建築の構想を具体化するプロセスを学ぶ。
5242290A5	建築環境計画特 論	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	前期 火曜日 1・ 2時限 D 4 1 8	講義	1年次以上	2時間	2単位	人が生活する上で必要な様々な機能に応じた建築環境が要求されるが、社会の変化のなかでその条件は変化している。そこで現代的な課題を取り上げ、人の行動や心理的側面、課題に対応する建築計画手法について学び、様々なスケールや用途、ユーザーやライフスタイルの変化に対応した新しい設計方法論について議論する。
5242300B5	施設デザイン演習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	設備や機能、都市環境といった施設を取り巻く諸条件を把握するのみならず、多様なユーザーの視点を念頭において、総合的な観点から設計を試みる。高度なプレゼンテーション図面および3Dを利用したエスキスをうける。授業では各自もしくはグループで設計課題に取り組む。その設計課題に即した知識教授型の講義と、設計案の提出とエスキス、発表などを通じて、設計方法論の習得とプレゼンテーションなどのスキルを習得する。とくに3Dを用いたエスキスに取り組み、先端のプレゼンテーションツールを用いて、利用者の立場に立った空間把握と設計へのフィードバックについて検討を行う。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5242310A5	居住空間環境学 特論	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	前期 火曜日 3・ 4時限 S 2 2 7	講義	1年次以上	2時間	2単位	詳細はこちら <a href="http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/">http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/</a>
5242320B5	環境デザイン演習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	室内環境や都市環境の何に注目し、いかにデータを収集し、それをどのように分析評価するかについて、課題を通じて学ぶ。環境の評価方法及び分 析手法に対する理解を深める。
5242330A5	環境工学特論	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	前期 火曜日 5・ 6時限 D 4 1 8	講義	1年次以上	2時間	2単位	水処理技術、水環境保全技術に関して最新情報を含めて講義する。それぞれの技術については、わが国で実施されている事例について理解し、その 特徴および問題点などを比較する。また海外事例なども把握し、日本の事例と比較しながら処理技術の適用性などについても深く学ぶ。
5242340B5	環境工学演習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	水処理技術、水環境保全技術に関する実験を独自に立案し、その計画を立てる。その立案過程を通じ、環境工学に関する基礎的知識を生活工 学的また実用的なものとして身につける。具体的には河川調査や大気測定調査などについて。限られた時間内で行える実験計画を立てることが重要 となる。
5242350A5	環境評価学特論	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	前期 水曜日 3・ 4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	環境評価手法、特にリスク評価や廃棄物計画に関して基本的知識から最新情報までを理解し、説明できる能力を習得する。
5242360B5	環境評価学演習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	コンピュータを用いた数値解法やシミュレーションを演習形式にて学ぶことにより、リスク評価および廃棄物管理を実際に行う技術を身につける。さらにそ れらに関するケーススタディーを独自に立案し、リスク評価等を実践する。その過程において生活工学的な知識として身につくと考えている。
5242390A5	第四紀学特論	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	詳細はこちら <a href="http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/">http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/</a>
5243010A5	生活工学デザイン ワークショップ (LIDEE)	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 そ 他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	現在「デザイン」は物理的な造形行為を超え、技術や社会、生活を含めたイノベーションの核として位置づけられている。履修学生は、チームで課題に 取り組み、社会や生活に対して新しい価値の創造を目指す。文理融合・問題解決型の演習を行う。社会の様々な問題をテーマとしたWorkshopを 通じ、問題を解決する具体的なデザインを提案する。
5243070A5	Project Based Learning B	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期不定期 そ 他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	詳細はこちら <a href="http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/">http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/</a>
5243160B5	生活工学創発演 習（基礎）A I	全教員	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	15時間	1単位	学生が輪番で自身の研究を発表し、さらに学生同士で討論することで、それぞれの研究内容に対する理解を深めると共に、新しい研究コラボレーシ ョンの発展へ繋げる。
5243170B5	生活工学創発演 習（基礎）A II	全教員	生活環境科学系	後期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	15時間	1単位	学生が輪番で自身の研究を発表し、さらに学生同士で討論することで、それぞれの研究内容に対する理解を深めると共に、新しい研究コラボレーシ ョンの発展へ繋げる。
5243180B5	生活工学創発演 習（基礎）B I	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	前期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	15時間	1単位	学生は輪番で研究発表を行い、それに対し、教員・学生間で討論する。各回の発表では、自身のテーマを深めつつも、新たなコラボレーションを発見 する視点を養う。
5243190B5	生活工学創発演 習（基礎）B II	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	15時間	1単位	学生は輪番で研究発表を行い、それに対し、教員・学生間で討論する。各回の発表では、自身のテーマを深めつつも、新たなコラボレーションを発見 する視点を養う。
5243280B5	生活工学創発演 習（発展）A I	全教員	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	15時間	1単位	学生が輪番で自身の研究を発表し、さらに学生同士で討論することで、それぞれの研究内容に対する理解を深めると共に、新しい研究コラボレーシ ョンの発展へ繋げる。
5243290B5	生活工学創発演 習（発展）A II	全教員	生活環境科学系	後期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	15時間	1単位	学生が輪番で自身の研究を発表し、学生同士で討論し合い、それらの司会進行を行うことで、それぞれの研究内容に対する理解を深めると共に、新 しい研究コラボレーションの発展へ繋げる。
5243300B5	生活工学創発演 習（発展）B I	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	前期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	15時間	1単位	創発演習（基礎）同様、学生は輪番で研究発表を行い、教員・学生間で討論する。各研究テーマにおいてコラボレーションを提案しつつ、修士論 文の完成に向けた目標を定める。
5243310B5	生活工学創発演 習（発展）B II	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	15時間	1単位	創発演習（基礎）同様、学生は輪番で研究発表を行い、教員・学生間で討論する。各研究テーマにおいてコラボレーションを提案しつつ、修士論 文の完成に向けた目標を定める。
5243380B5	生活工学モデリング 演習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	15時間	1単位	前半では各種機械やアプリケーションの習得を行い、後半ではそれらを用い実際の設計物を制作する。
5243430D5	生活工学インター ンシップ	全教員	お茶女/奈良女	不定期 その他 そ 他 その他	実習	1年次以上	30時間	2単位	ガイダンスを行った後、生活工学関連の企業や団体等でのインターンシップを行い、報告会およびディスカッションを行う。長期に渡るインターンシップによ り、デザインやイノベーションに関わる実践を行う。
5243440D5	住環境学インター ンシップ I	久保 博子・藤田 盟児・生活工学共 同専攻教員（お 茶大）	お茶女/奈良女	不定期 その他 そ 他 その他	実習	1年次以上	30時間	2単位	期休暇期間中、建築系企業（設計事務所、建築工事会社等）において、インターンシップを行う。建築設計業務(意匠、構造、設備)の領域の 現場での実務訓練を行い、実践的能力を養う 担当教員名：久保・藤田・元岡・長澤



科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5243450D5	住環境学インター シップⅡ	久保 博子,藤田 盟児,生活工学共 同専攻教員(お 茶大)	お茶女/奈良女	不定期 その他 そ 他 その他	実習	1年次以上	30時間	2単位	期休期間中、建築系企業（設計事務所、建築工事会社等）において、インターンシップを行う。建築設計業務(意匠、構造、設備)の領域の現場での実務訓練を行い、実践的能力を養う 担当教員名：久保・藤田・元岡・長澤
5242400A5	身体行動計測特 論	生活工学共同専 攻教員(お茶 大)	お茶の水女子大学	前期 金曜日 3・ 4時限 S 2 2 8	講義	1年次以上	2時間	2単位	詳細はこちら <a href="http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/">http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/</a>
5242410A5	身体行動計測演 習	生活工学共同専 攻教員(お茶 大)	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	詳細はこちら <a href="http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/">http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/</a>
5242420A5	都市デザイン特論	生活工学共同専 攻教員(お茶 大)	お茶の水女子大学	前期 水曜日 1・ 2時限 S 2 2 7	講義	1年次以上	2時間	2単位	人の生活を支え、豊かにするような材料を提供するためには、分子の機能を解析し、理解することが必要である。機能性の分子やその集合体は自然界の光合成やエネルギー問題を解決するための人工光合成研究など至るところでみられる。本講義では、有機分子ならびに分子集合体の機能を解析するための手法について解説する。
5242430A5	都市デザイン演習	生活工学共同専 攻教員(お茶 大)	お茶の水女子大学	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	人の生活を支え、豊かにするような材料を提供するためには、分子の機能を解析し、理解することが必要である。機能性の分子やその集合体は自然界の光合成やエネルギー問題を解決するための人工光合成研究など至るところでみられる。本講義では有機分子ならびに分子集合体の機能解析について問題演習や研究論文の輪読を通して理解を深める。
5242500A5	ヒューマンメディア情 報論	安在 絵美	生活環境科学系	前期 木曜日 5・ 6時限 D 4 1 8	講義	1年次以上	2時間	2単位	センシング技術の進歩により、生活中的音声、画像、生体情報を容易に収集でき、これらを活用した生活支援技術／サービスが拡大しつつある。今後、人の生活課題や健康問題等の社会的課題の解決につなげるためには、人の特性や生活・文化的側面に寄り添う技術の開発がカギとなる。本講義ではセンサデバイス、計測、情報処理、制御／提示デバイス等の情報メディア技術について理解を深めることを目的とし、人の生活の側面から求められるメディア情報応用の考え方や技術的課題について学ぶ。
5242510B5	ヒューマンメディア情 報論演習	安在 絵美	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	
5242520A5	ヒューマンキネティク ス特論	大高 千明	生活環境科学系	前期 木曜日 7・ 8時限 D 4 1 8	講義	1年次以上	2時間	2単位	
5242530B5	ヒューマンキネティク ス演習	大高 千明	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	
5242540A5	機能性分子解析 論	庄司 淳	生活環境科学系	前期 金曜日 1・ 2時限 H 5 0 1	講義	1年次以上	2時間	2単位	人の生活を支え、豊かにするような材料を提供するためには、分子の機能を解析し、理解することが必要である。機能性の分子やその集合体は自然界の光合成やエネルギー問題を解決するための人工光合成研究など至るところでみられる。本講義では、有機分子ならびに分子集合体の機能を解析するための手法について解説する。
5242550B5	機能性分子解析 論演習	庄司 淳	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	人の生活を支え、豊かにするような材料を提供するためには、分子の機能を解析し、理解することが必要である。機能性の分子やその集合体は自然界の光合成やエネルギー問題を解決するための人工光合成研究など至るところでみられる。本講義では有機分子ならびに分子集合体の機能解析について問題演習や研究論文の輪読を通して理解を深める。
5242560A5	システムデザイン特 論	生活工学共同専 攻教員(お茶 大)	お茶の水女子大学	前期 月曜日 3・ 4時限 D 4 1 8	講義	1年次以上	2時間	2単位	
17277700	生体機能調節論	芝崎 学	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	暑熱環境、高所環境、微小重力環境など、ヒトが生活しうる特殊環境下において、生体がどのように恒常性を維持しているのか、その生体機能の調節メカニズムについて解説する。生体情報の数学的解析手法について解説する。
5242590B5	生体機能調節論 演習	芝崎 学	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	暑熱環境、高所環境、微小重力環境など、ヒトが生活しうる特殊環境下において、生体がどのように恒常性を維持しているのか、その生体機能の調節メカニズムについて解説する。生体情報の数学的解析手法について解説する。
5240010F5	生活工学特別研 究(修士)	全教員	生活環境科学系	その他 その他 そ 他 その他	論文指導	1年次以上		10単位	学生は指導教員と相談し、自らの研究テーマを決め、テーマに関する関連論文の講読や学習、実験・測定・調査等を行うことにより、研究の手法や解析、まとめ方などを学習する。さらに、国内外の関連学会発表を行うための手法、研究の纏め方を学習し、修士論文としてまとめ、提出・発表する。指導教員は、適切な講義・演習等の教授活動を通して、研究が円滑に行われ、また成果を様々な形で社会に発信できるよう、指導と援助を行
5220010A5	心身健康学特論 A	鷹股 亮,成瀬 九 美,黒川 嘉子,吉 本 光佐,梅垣 佑 介,中田 大貴,横 山 ちひろ,時岡 良太	生活環境科学系	前期 月曜日 1・ 2時限 F 5 0 1	講義	1年次以上	2時間	1単位	心身健康学に関する多様な領域（生活健康学、スポーツ健康科学、臨床心理学）から、オムニバス形式で講義を行う。それぞれの領域の知見を深めるとともに、近接領域についても関心を広げることを目指す。
5220020A5	心身健康学特論 B	浅野 友之,岡本 英生,芝崎 学,伊 藤 美奈子,星野 聡子,石坂 友司, 加藤 奈奈子,高 浪 景子	生活環境科学系	前期 金曜日 5・ 6時限 E 2 1 8 - 1	講義	1年次以上	2時間	1単位	心身の健康を取り巻くさまざまな社会問題を運動・スポーツ、災害とストレス、犯罪、都市環境、スポーツ言説、可視化社会、いのちと死、身体などの視点から取り上げ、それらの現状や課題について講義する。

# 【大学院前期課程 生活環境学系】

# 2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5230010A5	情報衣環境学論	城 和貴,松本尚,駒谷 昇一,鴨浩靖,新出 尚之,原田 雅史,高田雅美	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	情報衣環境学専攻教員の研究をオムニバス形式で紹介する。 Introduce the research of faculty members in Computer Science and Clothing Environment using omnibus format.
5230020A5	ウェアラブルコンピューティング特論	城 和貴,佐藤 克成	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	ウェアラブルコンピューティングに関する最新の論文を読み理解する。
5230030B5	ウェアラブルコンピューティング特論演習	城 和貴,佐藤 克成	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	前期のウェアラブルコンピューティング特論の続きである。
5230040A5	スマートテキスタイル特論	松本 尚,才脇 直樹	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	スマートテキスタイルは、エレクトロニクスを融合した高度な機能を持つ繊維であり、付加価値を飛躍的に高めたものである。スマートテキスタイルの応用範囲は想像以上に広く、それゆえ、スマートテキスタイルに必要な要素技術も多岐に亘っている。本授業（特論）と特論演習では「ウェアラブル・エレクトロニクス」をテキストとして使って、ゼミ形式によって、スマートテキスタイルの全体像の俯瞰ならびに各要素技術についての学習を行う。
5230050B5	スマートテキスタイル特論演習	松本 尚,才脇 直樹	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	スマートテキスタイルは、エレクトロニクスを融合した高度な機能を持つ繊維であり、付加価値を飛躍的に高めたものである。スマートテキスタイルの応用範囲は想像以上に広く、それゆえ、スマートテキスタイルに必要な要素技術も多岐に亘っている。スマートテキスタイル特論と本授業（特論演習）では「ウェアラブル・エレクトロニクス」をテキストとして使って、ゼミ形式によって、スマートテキスタイルの全体像の俯瞰ならびに各要素技術についての学習を行う。
5230060F5	特別学外研究【長期海外】Ⅰ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）海外に滞在し、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230061F5	特別学外研究【長期海外】Ⅱ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）海外に滞在し、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230062F5	特別学外研究【長期海外】Ⅲ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）海外に滞在し、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230063F5	特別学外研究【長期海外】Ⅳ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）海外に滞在し、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230064F5	特別学外研究【長期国内】Ⅰ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）国内の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230065F5	特別学外研究【長期国内】Ⅱ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）国内の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230066F5	特別学外研究【長期国内】Ⅲ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）国内の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230067F5	特別学外研究【長期国内】Ⅳ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）国内の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230068F5	特別学外研究【不定期】A	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	その他	1年次以上		2単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、学期中あるいは休業中に、国内や海外の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230069F5	特別学外研究【不定期】B	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	その他	1年次以上		2単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、学期中あるいは休業中に、国内や海外の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230070F5	特別学外研究【不定期】C	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	その他	1年次以上		2単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、学期中あるいは休業中に、国内や海外の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。







科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5230122F5	特別学外研究〔長期海外〕Ⅲ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）海外に滞在し、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230123F5	特別学外研究〔長期海外〕Ⅳ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）海外に滞在し、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230124F5	特別学外研究〔長期国内〕Ⅰ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）国内の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230125F5	特別学外研究〔長期国内〕Ⅱ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）国内の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230126F5	特別学外研究〔長期国内〕Ⅲ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）国内の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230127F5	特別学外研究〔長期国内〕Ⅳ	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他 その他	その他	1年次以上		4単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、一定期間（3ヵ月程度を目安とする）国内の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230128F5	特別学外研究〔不定期〕A	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他 その他	その他	1年次以上		2単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、学期中あるいは休業中に、国内や海外の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230129F5	特別学外研究〔不定期〕B	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他 その他	その他	1年次以上		2単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、学期中あるいは休業中に、国内や海外の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230130F5	特別学外研究〔不定期〕C	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他 その他	その他	1年次以上		2単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、学期中あるいは休業中に、国内や海外の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5230140F5	特別学外研究〔不定期〕D	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他 その他	その他	1年次以上		2単位	自身の研究テーマに基づいた研究計画を作成し、学期中あるいは休業中に、国内や海外の大学・研究機関にて、リサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他の研究活動をおこなう。本科目は6年一貫教育プログラムの専用科目であり、プログラム生が自身の研究テーマおよび長期的な研究計画を踏まえてその内容等を設計する。
5221010A5	環境生理論	鷹股 亮	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	環境の変化に対して、各調節系がどのように相互連関して機能しているかについて最近の論文（主に総説）を用いて解説する。特に水分欠乏や飢餓状態における自律機能および行動の調節のメカニズムを学ぶ。更に、これらに対する性ホルモンの影響についても解説する。
5221020B5	環境生理論演習	鷹股 亮	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	環境の変化と飲水・摂食行動、生体リズムの中核メカニズムに関する論文を講読する。論文を読み、その内容を授業参加者の前で紹介し、討論する。
5221030A5	心身医学特論	横山 ちひろ	生活環境科学系	前期不定期 その他 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	心と身体が密接に影響しあうメカニズムを病態生理学や脳科学から理解することは、健康科学や臨床心理学の専門職にとって重要である。心身相関の基礎的な知識や理論、脳と身体反応の機能的関連性に関わる最新の知見を学ぶ。
5221050A5	環境人間工学特論	久保 博子	生活環境科学系	後期 木曜日 1・2時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	生活環境の人間生活への影響に関する実験やフィールド調査等の方法および、人体への生理的、心理的、行動的影響を測定する手法及びその結果の評価方法について論文輪読により検討し、ディスカッションを行うことにより、手法等に関して理解を深める。
5221060B5	環境人間工学演習	久保 博子	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	生活環境の人間生活への影響に関する実験やフィールド調査等の方法および、人体への生理的、心理的、行動的影響を測定する手法及びその結果の評価方法について論文輪読により検討し、ディスカッションを行うことにより、手法等に関して理解を深める。
5221070A5	生体機能調節論	芝崎 学	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	暑熱環境、高所環境、微小重力環境など、ヒトが生活する特殊環境下において、生体がどのように恒常性を維持しているのか、その生体機能の調節メカニズムについて解説する。生体情報の数学的解析手法について解説する。
5221080B5	生体機能調節論演習	芝崎 学	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	特殊環境下における生体反応に関連する英文論文および外書を講読する。
5221090A5	食と自律神経学特論	吉本 光佐	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	食品を摂取すると、生体内ではそれらを消化吸収し、自らの体内に合致するよう代謝される。そのため、生体は摂食によりその機能が変化し調節を行っている。本講義では、自律神経機能を軸として摂食による生体機能の変化及び生体機能調節を講述する。
5221100B5	食と自律神経学演習	吉本 光佐	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	食と自律神経に関する研究論文を購読し、作業仮説、実験方法、及び結果について討論することで、自身の研究にフィードバックさせる。また、新しい概念や知見を学ばせ、その内容について授業参加者の前で紹介することでより深く食が関わる生体機能性調節を理解する。
5221130A5	生活健康論 A	鷹股 亮・吉本 光佐	生活環境科学系	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	運動、ストレス、健康支援、生活環境等、最新の研究成果を学ぶ。また、研究計画、問題点の発見、研究の遂行方法、データのまとめ方、発表の方法等研究者として必用な技術を学ぶ。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5221140A5	生活健康論 B	芝崎 学, 横山 ち ひろ	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	学外の招聘講師によるセミナーに参加し、健康維持増進に関する最新の研究を学び今後の研究の方向性について考える。また、講演者の直接討 論により論文には掲載されない研究遂行する上で大切なノウハウを学ぶ。生活健康論 B では、健康支援、生活環境のほか、動物や人を対象とし た、生命科学、生理学、神経科学などの研究分野を扱う。招聘者の予定により授業の内容の順は年度により異なる。
5221150A5	神経生理学特論	鷹股 亮, 吉本 光 佐	生活環境科学系	前期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	神経系の基礎的な構造と機能について授業する。神経系は独自の形態と特殊な機能をもっており、形態と機能を理解することが大切である。ここで は、神経系の全体的な概要を理解した上で、ニューロンとシナプスを中心にその独自の情報伝達と統合の仕組みを述べる
5221160A5	行動神経科学	高浪 景子	生活環境科学系	前期不定期 そ 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	行動神経科学の研究領域について学び、モデル動物を用いた運動、知覚、学習と記憶、生殖、社会性、情動、神経新生と変性に対する行動解析 法について理解する。
5221170B5	行動神経科学演 習	高浪 景子	生活環境科学系	後期不定期 そ 他	演習	1年次以上	30時間	2単位	科学プレゼンテーションの目的と効果を学び、自分自身の研究を対象とする聴衆に合わせて組み立てる。また、お互いのプレゼンテーションに対する質 疑応答を通して、研究の発展に結びつくようなディスカッションとは何かを学ぶ。
5221180B5	心身医学演習	横山 ちひろ	生活環境科学系	後期不定期 そ 他	演習	1年次以上	30時間	2単位	心と身体が密接に影響しあうメカニズムを病態生理学や脳科学から理解し、新たな発見を探索することは、健康科学研究の担い手にとって重要であ る。心身相関の基礎的な知識や理論、脳と身体反応の機能的関連性に関わる最新の知見を踏まえ、自らの今後の研究の方向性について考える。
5221190A5	食健康管理学	西牧 未央	生活環境科学系	前期集中 そ 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	食健康管理学の研究領域について学び、運動とからだの関係、栄養素がエネルギーやからだの構成要素として活用される栄養の仕組みを生理学的 な理論について理解する。
5221200B5	食健康管理学演 習	西牧 未央	生活環境科学系	後期集中 そ 他	演習	1年次以上	30時間	2単位	
5221160F5	生活健康学特別 研究	全教員	生活環境科学系	その他 そ 他	論文指導	1年次以上		10単位	自ら行った研究を論文として発表できるようになるには、論文の書き方だけでなく、自らの研究の意義を明確にし、研究をどのように進めたら良いのか についても考えることができる能力を養う必要がある。本授業では、自らの行う研究分野の情報収集、研究の進め方、論理的な思考、正確でわかり やすい文章表現、英語能力の向上を目指して、指導を行う。
5222010A5	スポーツ法学特論	平塚 卓也	非常勤講師	前期 金曜日 7・ 8時限 第2演習 室 (A209)	講義	1年次以上	30時間	2単位	日本の体育やスポーツに関わる法的な問題を取り上げ、検討、考察する。スポーツ法学会年報などの研究紀要や判例雑誌を資料としてスポーツ法 学の課題について講義する。
5222030A5	バイオメカニクス特 論	藤原 素子	生活環境科学系	前期集中 そ 他	講義	1年次以上	30時間	2単位	ヒトの「随意運動の制御機構」および「運動学習」について概説する。中枢神経系および末梢神経系の解剖学的・生理学的機能を説明し、ヒトの運 動における情報処理、運動遂行過程について解説する。また、定期的にヒトの運動制御機構についての研究方法や論文を紹介する。
5222040B5	バイオメカニクス演 習	藤原 素子	生活環境科学系	後期集中 そ 他	演習	1年次以上	30時間	2単位	この授業では、バイオメカニクスにおける随意運動の制御機構をテーマに、受講生が国内外の文献読解、レジュメの作成、発表を行いながら演習を行 う。受講生の積極的な討議と、随意運動制御機構についての理解の促進を促す。
5222050A5	身体表現学特論	成瀬 九美	生活環境科学系	前期 金曜日 3・ 4時限 第2演習 室 (A209)	講義	1年次以上	2時間	2単位	身体表現研究の動向を概観した上で、ダンス/ムーヴメントセラピーに関する基本文献を紹介し、ダンス/ムーヴメントがもたらす心身への作用について 理解を深める。
5222060B5	身体表現学演習	成瀬 九美	生活環境科学系	後期 金曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	ダンス/ムーヴメントセラピーの理論や動きの客観的分析手法について関連文献を精読する。内容への理解を深めるために実技や実践現場への参加 を適時取り入れる。
5222070A5	スポーツ生理学特 論	星野 聡子	生活環境科学系	前期 金曜日 1・ 2時限 E218 -1	講義	1年次以上	2時間	2単位	スポーツ行動を生理学的視点から捉えるために、人体の解剖学的知識および生理的応答の機序についての基本的理解を促す。これをふまえ、独 立変数をスポーツ行動の変化、従属変数を生理反応の変化として捉え、諸場面における心理的揺さぶりに対する変化を詳細に分析し、身体が語り かける言語（生理的反応）について理解する。
5222080B5	スポーツ生理学演 習	星野 聡子	生活環境科学系	後期 金曜日 5・ 6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	近年、運動遊びの減少、家族構成や地域社会の変化に伴う人間関係の希薄化、ライフスタイルの変化などに関連し、現代社会では子どもの体力 低下や青年期の脳や心の健康を脅かす問題、超高齢化社会におけるQOLやWell-beingの確保の問題が浮き彫りとなっている。これらの健康問題 についてスポーツ科学が貢献しうる可能性について、受講生の興味関心の深いテーマについて具体的な先行研究を検討する。
5222090A5	スポーツ社会学特 論	石坂 友司	生活環境科学系	前期 月曜日 5・ 6時限 第3演習 室 (A210)	講義	1年次以上	2時間	2単位	スポーツは現代社会においてますます身近なものになり、政治的・経済的・文化的にもその価値を高めている。本講義ではスポーツを取り巻くさまざまな 社会問題をスポーツ社会学の視点から明らかにすることを目指し、基礎的な理論、概念、文献の解説を行う。また、それらを用いた具体的事例の読 み解き方について、最新の研究動向を紹介する。
5222100B5	スポーツ社会学演 習	石坂 友司	生活環境科学系	後期 月曜日 5・ 6時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	本講義ではスポーツ社会学の諸理論と概念の応用について演習形式で展開する。現代スポーツを読み解く重要なキーワードについて、教科書をもと に個別報告をしてもらい、関連する文献を読み進める。前半は近年注目を集めるスポーツ・メカイベントについて長野/東京オリンピックを事例に読み 解く。後半はスポーツ社会学の主要論文を読み進める。
5222110A5	スポーツ行動心理 学特論	浅野 友之	生活環境科学系	前期 水曜日 1・ 2時限 第3演習 室 (A210)	講義	1年次以上	2時間	2単位	体育・スポーツ場面での行動や事象に対する理解を深めるために、パーソナリティ理論、動機づけ理論、運動学習理論、身体知覚、心身相関、コー チング論等について、広範な知識を獲得していく。
5222120B5	スポーツ行動心理 学演習	浅野 友之	生活環境科学系	後期 水曜日 1・ 2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	スポーツ行動心理学に関する論文を幅広く講読し、その研究方法などについて検討する。個々の学生の修士論文に関係する研究課題について、参 考文献の講読を通して研究背景・作業仮説を明らかにし、研究方法を吟味して研究計画を作成する。加えて、研究計画、研究方法、データの処 理、結果の解析・評価、結論の妥当性などを受講生同士で討議する。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5222130A5	運動文化論特論	野口 垂弥	非常勤講師	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	21世紀に入り、国際連合や国際競技団体を中心にスポーツの持つ「力」に注目をし、多様な国際課題に対してスポーツを活用して解決を目指す「スポーツを通じた国際開発（IDS）」及び「開発と平和のためのスポーツ（SDP）」が注目をされている。本講義では、スポーツがもたらす功罪を理解しながら、国連が定める持続可能な開発目標に資するスポーツの役割を考察する。
5222140B5	運動文化論演習	未定	非常勤講師	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	体育・スポーツの歴史的経緯を踏まえ、スポーツ観、法と政策、教育的課題、ジェンダー、スポーツ規範、スポーツ技術、メディア、プロスポーツなどの観点から意義と問題性を検討、議論する。
5222160B5	身体運動学演習	星野 聡子	生活環境科学系	後期 火曜日 9・ 10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	D.O.Hebbの行動学入門(1975)をもとに、動機づけや情動・知覚が人間の行動を左右することについて理論的な学習を深め、心理要因によるパフォーマンスや生理応答への影響について考える。さらに、近年の精神生理学的手法を用いた文献を精読し、スポーツパフォーマンスにおけるそれらの影響について理解を深める。
5222180A5	認知神経科学特論	中田 大貴	生活環境科学系	前期 木曜日 3・ 4時限 第3演習 室(A210)	講義	1年次以上	2時間	2単位	体育・スポーツ場面での行動に対する理解を深めるために、脳と心、運動学習理論、身体知覚、身体発育発達、運動と健康等について、講義を通して知識を獲得していく。
5222190B5	認知神経科学演習	中田 大貴	生活環境科学系	後期 木曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	スポーツ行動心理学に関する論文を幅広く講読し、その研究方法などについて検討する。個々の学生の修士論文に係る研究課題について、参考文献の講読を通して研究背景・作業仮説を明らかにし、研究方法を吟味して研究計画を作成する。加えて、研究計画、研究方法、データの処理、結果の解析・評価、結論の妥当性などを受講生同士で討議する。
5222170F5	スポーツ科学特別研究	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	論文指導	1年次以上		10単位	教員の指導の下に、各自のテーマに基づいた修士論文の作成を目標とした演習を行う。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
5223010A5	臨床心理学特論 I	加藤 奈奈子	生活環境科学系	前期 金曜日 1・ 2時限 E251	講義	1年次以上	2時間	2単位	臨床心理学の主要な理論ならびに各理論に基づく心理臨床における応答や援助的働きかけ、心理臨床家としての職業倫理等について学び、心理臨床の実践における倫理と専門性への理解を深める。文献講読と受講者間のディスカッションを通じて、上記に関する理解を深めるとする。
5223020A5	臨床心理学特論 II	黒川 嘉子	生活環境科学系	後期 木曜日 5・ 6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	臨床心理学の成り立ちやパラダイムを理解し、心理臨床を実践するための基盤となる知識や視点を習得していくことを目的とする。心理臨床を実践する領域は広く、対象も多様であるが、共通する要素が存在している。授業では、クライアントの理解を中心にすえ、ライフサイクルや「心の病」についての理解を深めつつ、心理臨床事例を通して、各領域分野の特徴や汎用性をもつ心理臨床の専門性、倫理について考察していく。
5223030A5	臨床心理学面接特論 I（心理支援に関する理論と実践）	伊藤 美奈子	生活環境科学系	前期 水曜日 1・ 2時限 D119	講義	1年次以上	2時間	2単位	この講義では、心理支援に関する理論と実践を学ぶ。力動論や行動論・認知論に基づく心理臨床、ならびにコミュニティ心理学の知見も加えつつ、具体的な事例も紹介しつつ学ぶ。本年度は、教育領域での実習体験を材料として、教育領域の心理臨床実践について、体験的に学ぶ。また、それと同時に、教育現場で求められる心理教育の技法を身につけるため、特任教授の栗本美百合先生の協力により、アートセラピーの理論と技法についても学ぶ予定である。
5223040A5	臨床心理学面接特論 II	岡本 英生	生活環境科学系	後期 月曜日 1・ 2時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	臨床心理面接の実際に即した手法やスキルなどについて学ぶ。
5223050B5	臨床心理学査定演習 I（心理的アセスメントに関する理論と実践）	黒川 嘉子・時岡 良太	生活環境科学系	前期 水曜日 3・ 4時限 D119	演習	1年次以上	2時間	2単位	心理実践における心理アセスメントの意義を学び、心理検査や行動観察等の方法を用いて得られた情報を統合し多面的視点から見立てを行い、見立てに基づいた介入の方針を策定するプロセスについて学ぶ。
5223060B5	臨床心理学査定演習 II	岡本 英生・梅垣 佑介・加藤 奈奈子	生活環境科学系	後期 水曜日 3・ 4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	心理検査の中でも、ロールシャッハ・テストやTATなどの投影法、および知能検査であるWAIS・WISCなどの使用法・解釈法についての演習を行う。
5223070D5	臨床心理基礎実習 I	伊藤 美奈子・梅垣 佑介・時岡 良太	生活環境科学系	前期 火曜日 1・ 2時限 第6演習 室(A205)・ 前期 火曜日 3・ 4時限 第6演習 室(A205)	実習	1年次以上	3時間	1単位	臨床心理面接を行う上で必要となる基本的な知識とスキルを学ぶ。具体的には、(1)心理援助専門職になる上での基本的知識（適性や基本的態度など）、(2)面接の基本的なスキル、(3)インテーク面接の基本を学ぶ。毎回の授業に出席するためには予習が必要となり、受講生はテキストを熟読し、ノートにまとめた上で授業に臨むことが求められる。面接の基本的スキルを学ぶためにカウンセリングのロール・プレイを行う。中間レポート課題と最終レポート課題が出される。予習ノートの提出が求められる。
5223080D5	臨床心理基礎実習 II	伊藤 美奈子・梅垣 佑介・時岡 良太	生活環境科学系	後期 火曜日 1・ 2時限 第6演習 室(A205)・ 後期 火曜日 3・ 4時限 第6演習 室(A205)	実習	1年次以上	3時間	1単位	心理面接の実際について、ロールプレイで扱い検討することで心理臨床家の役割と責任について学ぶ。学生どうしのディスカッションおよび教員からの指導により、心理臨床家としての基本的態度を身につける。ロールプレイでは、継続面接の架空事例を扱い、クライアントと定期的に会うことの意味や経過の中で生じる問題への対応について学び、面接技術の向上を図る。臨床能力の訓練とともに、専門家としての職業倫理・使命感を養う。
5223090D5	臨床心理実習 I（心理実践実習 III）	岡本 英生・黒川 嘉子・加藤 奈奈子	生活環境科学系	前期 金曜日 7・ 8時限 E251・ 前期 金曜日 9・ 10時限 E251	実習	2年次以上	3時間	2単位	保健医療、教育、司法・犯罪、その他の分野における実習および事前・事後学習を通じて、心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握を行い、相談その他の心理的援助を行うための専門的で発展的な知識および技能を身につける。「心理実践実習 II」、「臨床心理実習 I（心理実践実習 III）」、「心理実践実習 IV」とあわせて合計450時間以上の実習を行う。そのうち、担当ケースに関する実習時間は270時間以上（うち、学外実習施設での当該時間90時間以上）とする。



科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5223100D5	臨床心理実習Ⅱ	岡本 英生,黒川 嘉子,加藤 奈奈 子	生活環境科学系	後期 金曜日 7・ 8時限 E251 後期 金曜日 9・ 10時限 E25 1	実習	2年次以上	3時間	2単位	学内実習として、心理臨床センターで教員の指導のもと、インターン面接・心理検査・心理面接を行い、教員からスーパービジョンを受ける。学外実習として、学外提携施設で実習を行い、心理臨床の実際を体験し、臨床現場におけるクライアントの姿に触れ、心理臨床家の役割と責任について学ぶ。また、教員の指導とスーパービジョンを通して、事例や問題についての理解を深める。臨床能力の訓練とともに、専門家としての職業倫理・使命感を養う。
5223120A5	心理統計法特論	梅垣 佑介	生活環境科学系	前期 月曜日 5・ 6時限 A棟情報 処理教育室	講義	1年次以上	2時間	2単位	臨床心理学研究において一般的に用いられる定量的なデータ解析法について解説する。統計ソフトを用い、実際に分析を行う方法について学ぶ。各データ解析法の分析結果の記述、解釈については、実際の研究論文を輪読するなどの授業外課題を通じて解説する。分散分析・重回帰分析・因子分析・共分散構造分析（構造方程式モデリング）を中心に取り上げる予定である。
5223130A5	臨床心理学研究 法特論	時岡 良太	生活環境科学系	前期 金曜日 3・ 4時限 E102	講義	1年次以上	2時間	2単位	臨床心理学における様々な研究方法について理解を深めることを目的とする。特に、臨床心理学領域において重要な質的研究と事例研究に焦点を当て、分析の体験や論文の講読を通じて研究法についての理解を深める。また、研究を遂行する際に必要な倫理的配慮についての講義も行う。
5223140A5	発達心理学特論	時岡 良太	生活環境科学系	後期 木曜日 1・ 2時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	授業の前半では、「発達障害」について、その特徴や検査の方法、心理支援のあり方等について講義する。その際、当事者研究や自伝の資料を題材にしたディスカッションも取り入れ、発達障害を持つ方々の抱える困難について議論する。後半では、臨床的な発達理論に関する文献について文献講読を行う。発表準備と全員でのディスカッションを通じて、乳幼児と養育者との関係についての臨床的な理解や、その自己形成への影響について考察する。
5223150A5	教育心理学特論 (教育分野に關する 理論と支援の展 開)	伊藤 美奈子	生活環境科学系	後期 水曜日 1・ 2時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	教育現場での実習での体験を個人・グループで報告し、その実践的意味や学校現場での支援のあり方についてディスカッションを行う。
5223160A5	学習心理学特論	梅垣 佑介	生活環境科学系	後期 月曜日 3・ 4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	本講義では、人の行動形成や行動変容を学習の観点から捉える学習心理学について学ぶ。代表的な学習理論と学習のさまざまな特徴について学び、学習心理学の理論が心理的支援の領域でどのように用いられるかについて学ぶ。プレゼンテーションやディスカッションを通して、知識を深めていく。本講義を通じて、学習心理学的な観点から人のさまざまな行動を捉え、支援の方法を考えることができるようになることを目指す。
5223180A5	犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野 に関する理論と支 援の展開)	岡本 英生	生活環境科学系	前期 月曜日 3・ 4時限 D119	講義	1年次以上	2時間	2単位	非行・犯罪の原因、非行少年・犯罪者の処遇制度、司法・犯罪の現場で働く心理専門職の業務、そして被害者の心理について学ぶ。発表と討議により授業を進める。
5223200A5	精神医学特論 (保健医療分野 に関する理論と支 援の展開)	吉田 稔	非常勤講師	後期 木曜日 7・ 8時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	授業は、公認心理師・臨床心理士にとって必要な保険医療分野、特に精神医学の知識を習得することを主たる目的とするが、より幅広く臨床精神医学についての知識を得ることも可能である。その際精神医学史の観点も取り入れ、個々の精神障害に対して、幅広い理解が進むよう努める。さらに心理療法家は技術者でもあるので、自律訓練法、催眠療法なども紹介したい。とくに自律訓練法に関しては毎回授業の度に行ない、最終的に標準練習を修得してもらう。授業は毎回プリントをオンラインで提供し、授業後にミニレポートをオンラインで送付してもらう。事例を扱うと理解が進むが、プライバシーの問題があるので、その代わりにビデオを適宜とり入れる。最終的に精神医学全体を概観でき、精神医学と心理学の望ましい協力関係を模索し、個々の病気や障害をその中に位置づけられることを目標とする。
5223210A5	投影法特論	川部 哲也	非常勤講師	前期集中 その他 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	臨床心理学における代表的な投映法であるロールシャッハ・テストについて扱う。基本的な実施法、片口法によるスコアリングとその分類および解釈について講義を行う。その後、グループ討議を交えて、ロールシャッハ・テストの事例から、スコアリングとその解釈を行い、対象となる人物像を適切に描くための所見を作成する演習を行う。
5223220A5	心理療法特論	黒川 嘉子	生活環境科学系	前期 木曜日 5・ 6時限 E218 -1	講義	1年次以上	2時間	2単位	この授業では、初心のセラピストが出会うことの多い子どものクライアントとの心理療法を取り上げる。子どもの心理療法では、子どもの表現をマルチチャンネル（前言語的、非言語的、言語的など）で受けとめ、応答する必要がある。セラピストとして、クライアントと出会うとき、どのようなことを感じ、考えるのか、事例を読み深めながら、臨床的な感覚を考察していく。それとともに、子どもの心理療法に必要な基本的理論や治療の枠組み、セラピストの態度なども検討していく。
5223240A5	心の健康教育に關 する理論と実践	倉西 宏	非常勤講師	前期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	公認心理師の役割の一つである心の健康教育を実践するために、心の健康・危機・その援助について多面的に捉え、心の健康教育の意義・内容・目的についての理解を図る授業である。どのような状態が人間にとっての心の健康で、何が健康を損なうのか、そして何によって人は健康を取り戻すのか、議論を深めたい。また、その中で「死」に焦点を当て、死が人に与えるもの、死別体験、自殺・自死、等の観点からも講義を行う。
5223260D5	心理実践実習Ⅰ	伊藤 美奈子,岡 本 英生,黒川 嘉 子,梅垣 佑介,加 藤 奈奈子,時岡 良太	生活環境科学系	前期 その他 その 他 その他	実習	1年次以上	2時間	2単位	保健医療、教育、司法・犯罪、その他の分野における実習および事前・事後学習を通じて、心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握を行い、相談その他の心理的援助を行うための専門的で発展的な知識および技能を身につける。「心理実践実習Ⅱ」、「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅲ）」、「心理実践実習Ⅳ」とあわせて合計450時間以上の実習を行う。そのうち、担当ケースに関する実習時間は270時間以上（うち、学外実習施設での当該時間90時間以上）とする。
5223270D5	心理実践実習Ⅱ	伊藤 美奈子,岡 本 英生,黒川 嘉 子,梅垣 佑介,加 藤 奈奈子,時岡 良太	生活環境科学系	後期 その他 その 他	実習	1年次以上	2時間	2単位	保健医療、教育、司法・犯罪、その他の分野における実習および事前・事後学習を通じて、心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握を行い、相談その他の心理的援助を行うための専門的で発展的な知識および技能を身につける。「心理実践実習Ⅰ」、「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅲ）」、「心理実践実習Ⅳ」とあわせて合計450時間以上の実習を行う。そのうち、担当ケースに関する実習時間は270時間以上（うち、学外実習施設での当該時間90時間以上）とする。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5223280D5	心理実践実習Ⅳ	伊藤 美奈子,岡本 英生,黒川 嘉子,梅垣 佑介,加藤 奈奈子,時岡 良太	生活環境科学系	後期 その他 その他	実習	2年次以上	2時間	2単位	保健医療、教育、司法・犯罪、その他の分野における学内外での実習および事前・事後学習を通して、心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握を行い、相談その他の心理的援助を行うための専門的で発展的な知識および技能を身につける。「心理実践実習Ⅰ」、「心理実践実習Ⅱ」、「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅲ）」とあわせて合計450時間以上の実習を行う。そのうち、担当ケースに関する実習時間は270時間以上（うち、学外実習施設での当該時間90時間以上）とする。
5223290F5	臨床心理学特別研究	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	論文指導	1年次以上		10単位	各指導教員の下で、研究を行い、修士論文作成を行う。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
5231010A5	アパレル洗浄論	原田 雅史	生活環境科学系	後期 木曜日 7・8時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	着用により低下したアパレル製品の機能を回復するための洗浄に関して、洗浄現象の要因であるぬれ、吸着、分散・凝集について表面自由エネルギーと界面電気化学の観点から説明する。また、家庭洗濯と商業洗濯の相違点を挙げて、それらメカニズムについて講義する。
5231020B5	アパレル洗浄論演習	原田 雅史	生活環境科学系	後期 木曜日 1・2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	着用により低下したアパレル製品の機能を回復するための洗浄に関して、界面電気化学の観点から解説する。また、これらに関して近年発表された論文等を講読し、討論する。
5231030A5	衣環境管理論	原田 雅史	生活環境科学系	前期 月曜日 5・6時限 第5演習室（A212）	講義	1年次以上	2時間	2単位	衣環境の管理について、衣服の着用や保管による機能性低下と関連づけながら解説する。具体的には、洗濯、しみ抜き、漂白、柔軟処理、糊づけ、収納などについて講述する。また、洗剤の生分解性と安全性、環境問題について説明する。
5231040B5	衣環境管理論演習	原田 雅史	生活環境科学系	前期 月曜日 7・8時限 第5演習室（A212）	演習	1年次以上	2時間	2単位	衣環境の管理について、衣服の着用や保管による機能性低下と関連づけながら解説する。また、これらに関して近年発表された論文等を講読し、討論する。
5231050A5	衣環境科学論	原田 雅史	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	2年次以上	2時間	2単位	洗浄剤、繊維素材、加工剤の構造や機能性に関して説明する。界面活性剤とコロイド粒子を複合化した機能性材料に関して、合成手法、構造、機能性について説明する。また、衣環境分野における環境への負荷の少ない化学プロセス（環境負荷の少ない溶媒、効率的なエネルギー利用）に関して講義する。
5231060B5	衣環境科学演習	原田 雅史	生活環境科学系	前期 その他 その他	演習	2年次以上	2時間	2単位	界面活性剤とコロイド粒子を複合化した新規機能性材料ならびに環境への負荷の少ないプロセスについて近年発表された論文等を講読し、討論する。
5231070A5	ソーシャルシステム特論	城 和貴	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	SNSを利用することで遠隔ではあるが家族の結びつきを強めることが可能であることを解説する。さらに特殊なデバイスを利用することで家族の様々な情報をこっそり送受信できることを解説する。毎回の授業では事前にその回のテーマに合った論文を選びその内容をパワポにまとめておいて発表してもらう。その発表をもとに議論を行う。論文は受講者が選ぶこともあれば指定することもある。
5231080B5	ソーシャルシステム演習	城 和貴	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	前期のソーシャルシステム論で学んだ内容をもとに、どのようなシステムが構築可能であるかを各自のプレゼンテーションとそれに対する議論でまとめていく。
5231090A5	繊維構造論	黒子 弘道	生活環境科学系	前期 金曜日 3・4時限 D418	講義	1年次以上	2時間	2単位	繊維はほとんど全て高分子材料であり、繊維材料の性質は、高分子中の結晶、非晶ならびにその中間領域の構造に大きく依存する。高分子・繊維の構造について概説し、固体高分解能NMRにより求められる化学シフトならびに緩和時間の変化の情報をもとに、高分子・繊維の構造と物性との関連について講述する。
5231100B5	繊維構造論演習	黒子 弘道	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	繊維材料構造論に関連する内外の研究論文を講読し、その内容について議論、討論を行い、より深く繊維材料構造論を理解する。
5231130A5	衣環境材料学	黒子 弘道	生活環境科学系	前期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	生活をとりまく様々な合成由来・天然由来の繊維材料の諸物性について概説する。また繊維材料の諸物性とそれらの用途との関連性について、近年の機能性繊維材料の紹介を交え講述する。
5231140B5	衣環境材料学演習	黒子 弘道	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	近年の繊維・高分子材料に関する学術論文を講読する。各分野の背景・現状を把握した上で、各繊維材料の新規性、有用性や発展性、また新たに解明された繊維物性や機能について客観的に評価し討論することで、理解を深める。
5231150A5	アパレル評価論	井上 真理	非常勤講師	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	ひとが衣服を着用したときの快適性、繊維集合体に触れたときの心地よい触感をもたらす素材の性質、着用時の消費性能評価について、次の三つの視点から講義する。（1）衣服材料の構造と力学的性質 （2）アパレル着用時の快適性能 （3）衣生活と持続可能性。また課題を提示し、受講生によるグループディスカッションとプレゼンテーションを行う。
5231170A5	アパレル感性情報処理論	才脇 直樹	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	最新論文及び学会誌等に掲載された専門解説記事を毎回一つとりあげ、その技術背景や研究手法、成果などについて教員が解説しつつ、参加者全員で議論と理解を深めるインタラクティブ授業である。事前に論文や記事は指定・配布されるので予習を行い、授業中質疑応答に積極的に参加し、授業後それぞれが毎回のテーマについてまとめたレポートを提出する形式で理解の深化をはかる。
5231180A5	プロジェクトマネジメント特論	駒谷 昇一	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	ITプロジェクトにおけるマネジメントの実践的な問題解決力を身に付ける。プロジェクトマネジメントに関するトラブル事例について、その問題の分析と検討により、どうしてそのような問題が発生したのか、その問題をどう解決したらよいのか、その問題が発生または再発しないようにするためにはどのような対策が考えられるのか、を学ぶ。
5231190B5	プロジェクトマネジメント特論演習	駒谷 昇一	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	プロジェクトマネジメントの演習を通じて、プロジェクトマネジメントの方法を学ぶ 具体的には、LEGO Mindstormsを使った介護支援ロボットを製作するというプロジェクトを発足し、プロジェクト管理を行いながらロボットを企画製造する。
5231200F5	衣環境学特別研究	全教員	生活環境科学系	その他 その他 その他	論文指導	1年次以上		16単位	修士論文を作成するために必要な、文献の調べ方、研究テーマの設定、実験方法の選択と決定、研究の進め方、プレゼンテーションの仕方などを指導する。また、研究不正を未然に防ぐための研究倫理教育を行う。
5232010A5	ライフコンピューティング論	城 和貴	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	ライフコンピューティングとはIoTで取得した膨大なデータから人工知能を使って知識抽出を行ったりレコメンドを生成したりする技術一般のことを言う。本講義ではレコメンドシステムに関して詳しく学習する。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時間・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5232020B5	ライフコンピューティング論演習	城 和貴	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	ライフコンピューティングとはIoTで取得した膨大なデータから人工知能を使って知識抽出を行ったりレコメンドを生成したりする技術一般のことを言う。本講義ではレコメンドシステムに関して詳しく学習する。本講義はライフコンピューティング論の続きである。
5232030A5	人工知能特論	城 和貴	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	deep learningに関する最新の技術動向をゼミ形式で学習する。
5232040B5	人工知能特論演習	城 和貴	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	deep learningに関する最新の技術動向をゼミ形式で学習する。本演習は人工知能特論の続きである。
5232050A5	オペレーティングシステム特論	松本 尚	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	オペレーティングシステムに関して、深い理解を得るために、TanenbaumのModern Operating Systems 第4版の原書をゼミ形式で講読する。ただし、教科書内の演習問題は別講義であるオペレーティングシステム特論演習において取り組む。
5232060B5	オペレーティングシステム特論演習	松本 尚	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	オペレーティングシステムに関して、深い理解を得るために、オペレーティングシステム特論で輪講したModern Operating Systems 第4版の内の演習問題(各章のSUMMARY内のPROBLEMS)をゼミ形式で解く。
5232070A5	コンピュータアーキテクチャ特論	松本 尚	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	コンピュータアーキテクチャに関して、深い理解を得るために、David A. PattersonとJohn L. HennessyによるComputer Organization and Design, Revised Fourth Edition(パタヘネ本第4版)の原書をゼミ形式で講読する。ただし、教科書内の演習問題は別講義であるコンピュータアーキテクチャ特論演習において取り組む。
5232080B5	コンピュータアーキテクチャ特論演習	松本 尚	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	最新のコンピュータアーキテクチャに関する理解を定着させるために、コンピュータアーキテクチャ特論で輪講したDavid A. PattersonとJohn L. HennessyによるComputer Organization and Design, Revised Fourth Edition(パタヘネ本第4版)内の演習問題(Exercise)をゼミ形式で解く。
5232090A5	ソフトウェア工学特論	駒谷 昇一	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	情報システムの設計、製造、試験における様々なソフトウェア開発技術について学ぶ。
5232100B5	ソフトウェア工学特論演習	駒谷 昇一	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	簡単な情報システムの開発の演習を通じて、アーキテクチャの設計方法、ソフトウェア設計方法、コートレビューの実施方法、単体試験の実施方法、テストの実施方法などを学ぶ。具体的には、Linux上で動く、クライアントサーバシステムを構築する。
5232110A5	セキュリティ特論	駒谷 昇一	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	インターネットやスマートフォンの普及により、現在の情報社会にはサイバー犯罪が増え続けている。情報システムの構築において、情報セキュリティに関する技術は不可欠となっている。本授業では、情報セキュリティに関するインシデント(事件)の事例を紹介しながら、情報セキュリティの脅威とそれに対抗するための技術について学ぶ。
5232120B5	セキュリティ特論演習	駒谷 昇一	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	セキュリティについて演習を通じて、実践的なスキルを身に付ける。具体的には、ネットワークのパケットモニタリング(Wireshark)を用いて、通信内容を解析する。その後、ネットワークに接続された機器(Webカメラ)の乗っ取りを行いながら、ネットワークに接続された機器のセキュリティ対策について学ぶ。また、マクロウィルスの作成を通じて、マクロウィルスの仕組みを理解する。
5232130A5	アルゴリズム特論	鴨 浩靖	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	探索のアルゴリズムとグラフアルゴリズムを中心に、進んだアルゴリズムを学ぶ。
5232140B5	アルゴリズム特論演習	鴨 浩靖	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	探索のアルゴリズムとグラフアルゴリズムを中心に、進んだアルゴリズムを学ぶ。
5232150A5	計算理論特論	鴨 浩靖	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	計算とは何か、計算はどのような性質を持つかに関する数学である計算理論の基礎を学ぶ。また、計算理論の進んだ話題にも触れる。計算理論は情報科学の基盤の一つである。情報処理のいかなる分野も、目に見えるかどうかは別として必ず計算理論を基盤としている。したがって、この科目は、情報処理の理論的背景を理解する視点を提供するものである。
5232160B5	計算理論特論演習	鴨 浩靖	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	計算とは何か、計算はどのような性質を持つかに関する数学である計算理論の基礎を学ぶ。また、計算理論の進んだ話題にも触れる。計算理論は情報科学の基盤の一つである。情報処理のいかなる分野も、目に見えるかどうかは別として必ず計算理論を基盤としている。したがって、この科目は、情報処理の理論的背景を理解する視点を提供するものである。
5232170A5	論理プログラミング特論	新出 尚之	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	論理プログラミングとは、プログラミングの基本的な考え方として、推論や証明といった論理学の枠組みを応用しようという分野である。そのため、人間の知的な振る舞いを計算機に模倣させようという応用において、その基礎として用いられることが多い。この科目では、そうした応用を念頭に、論理プログラミングの基礎およびその拡張についての講義を行う。
5232180B5	論理プログラミング特論演習	新出 尚之	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	論理プログラミングとは、プログラミングの基本的な考え方として、推論や証明といった論理学の枠組みを応用しようという分野である。そのため、人間の知的な振る舞いを計算機に模倣させようという応用において、その基礎として用いられることが多い。この科目では、そうした応用を念頭に、前期の「論理プログラミング特論」で扱った内容に関する演習を行う。
5232190A5	知的エージェント特論	新出 尚之	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	知的エージェントとは、周囲の環境などに関する推論を行いながら、目標を達成する方法を自ら決めて活動する、1つの独立したシステムと位置づけられる。本授業ではそうしたシステムに関する講義を行う。
5232200B5	知的エージェント特論演習	新出 尚之	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	知的エージェントとは、周囲の環境などに関する推論を行いながら、目標を達成する方法を自ら決めて活動する、1つの独立したシステムと位置づけられる。本授業ではそうしたシステムに関する理解を得ることを目指した演習を行う。
5232210A5	ネットワーク特論	高田 雅美	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	IT社会において重要なネットワークの仕組みについてゼミ形式で講義をする。
5232220B5	ネットワーク特論演習	高田 雅美	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	ネットワークスペシャリストの試験に合格するために、演習を行う。
5232230A5	Webプログラミング特論	高田 雅美	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	Webページを用いたRESTfulなシステム構築についてゼミ形式で講義をする
5232240B5	Webプログラミング特論演習	高田 雅美	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	多くのクライアントからなるシステムを開発する際に適しているRESTfulを満たすシステムを構築する。

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
5232250F5	生活情報通信科学特別研究	全教員	生活環境科学系	その他 その他 他 その他	論文指導	1年次以上		16単位	ゼミにおいて研究すべき研究テーマに関する専門書、論文の輪読と議論を行う。各自の研究テーマに沿って研究を行い、その成果を発表し合い、議論する。
5250290D5	住環境学インターンシップⅠ	全教員	生活環境科学系	集中 その他 他 その他	実習	1年次以上	210時間	7単位	【建築士試験の大学院における実務認定－2年】 ・住環境学インターンシップⅠでは、夏季休業期間等を活用し、6から7週間（合計210時間以上）の期間、建築物の設計または工事監理に係わる実践的な能力を培うことを目的として、「建築士事務所」での研修によって、都市や建築、住環境計画に対する実務訓練を行う ・受講対象は、住環境学専攻の博士前期課程1年次に在籍する学生とする。 ・本実習は、一級建築士試験のための大学院における実務経験「2年」の認定に関するインターンシップ科目である。本実習の単位を取得した上で、インターンシップ関連科目を所定の単位修めれば、「2年」の実務経験が認定される。 ・本科目を履修した場合には、「住環境学実務実習」は履修できない。
5250300D5	住環境学インターンシップⅡ	全教員	生活環境科学系	集中 その他 他 その他	実習	1年次以上	210時間	7単位	【建築士試験の大学院における実務認定－2年】 ・住環境学インターンシップⅡでは、夏季休業期間等を活用し、6から7週間（合計210時間以上）の期間、建築物の設計または工事監理に係わる実践的な能力を培うことを目的として、「建築士事務所」での研修によって、都市や建築、住環境計画に対する実務訓練を行う。 ・受講対象は、住環境学専攻の博士前期課程2年次に在籍する学生とする。 ・本実習は、一級建築士試験のための大学院における実務経験「2年」の認定に関するインターンシップ科目である。本実習の単位を取得した上で、インターンシップ関連科目を所定の単位修めれば、「2年」の実務経験が認定される。 ・本科目を履修した場合には、「住環境学実務実習」は履修できない。
5250320A5	住環境設計特論	城戸崎 和佐	非常勤講師	集中 その他 他 その他	講義	1年次以上	30時間	2単位	建築設計の実務に即した環境リサーチ・ヒアリングとその分析を通し、提案・設計にいたるプロセスにおいて必要とされるスキルを、具体的事例を通して講義し、そのノウハウを修得するもの。
5250310D5	住環境学実務実習	加藤 亜矢子	生活環境科学系	集中 その他 他 その他	実習	1年次以上	120時間	4単位	【建築士試験の大学院における実務認定－1年】 ・住環境学実務実習では、夏季休業期間等を活用し、4週間（合計120時間以上）の期間、建築物の設計または工事監理に係わる実践的な能力を培うことを目的として、「建築士事務所」での研修によって、都市や建築、住環境計画に対する実務訓練を行う。 ・受講対象は、住環境学専攻の博士前期課程1年次以上に在籍する学生とする。 ・本実習は、一級建築士試験のための大学院における実務経験「1年」の認定に関するインターンシップ科目である。本実習の単位を取得した上で、インターンシップ関連科目を所定の単位修めれば、「1年」の実務経験が認定される。 ・本科目を履修する年度内において、「住環境学インターンシップⅠ」および「住環境学インターンシップⅡ」は履修できない。